

施工説明書 アラウーノ専用手洗い (キャビネットタイプ)

水栓	手動水栓	自動水栓	自動水栓(寒冷地)
本体	GHA7R2S(R/L)	GHA7R2J(R/L)	GHA7R2J(R/L)7
扉		GHA1T2□□	
カウンター		GHA7RC□□(R/L)	

R: R仕様 L: L仕様 □□: 色品番

もくじ

安全上のご注意	2
施工前の確認	3
各部のなまえと同梱部品	4
寸法図・配管接続図	6
施工チャート	7
施工手順	8
1 止水栓の取り付けと床工事	8
2 部材の加工	8
3 カウンターの取り付け	10
4 キャビネット・手洗いボールの取り付け	14
5 給排水管の取り付け	16
6 便器の取り付け	27
7 仕上げ	27
8 扉の取り付け	29
9 試運転と確認	31
10 配管カバーの取り付け	33
施工完了チェックリスト	34



- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」(2ページ)は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことによる事故や損害が生じたときには、当社では責任を負いません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 取扱説明書(保証書付き)、施工完了チェックリストは必ず必要事項を記入のうえお客様にお渡しください。
- 便器を取り付ける前に「アラウーノ専用手洗い」を先に取り付けてください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

◎人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

！ 警告



禁止

- バスルームなどの湿気の多い場所に設置しない
感電や火災の原因となります。
- 分解・改造はしない
感電・火災・けがの原因となります。
- 屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には施工しない
本体が破損し、発火や発煙の原因となります。



必ず守る

- 自動水栓タイプの場合、電源は必ず交流100V(15A以上)の専用回路が設けられていることを確認する
感電や火災の原因となります。
- 電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う
漏電・火災・水漏れの原因となります。

！ 注意



禁止

- 給水管に強い力を加えない
破損により水漏れの原因となります。



必ず守る

- 施工後は必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する
水漏れ、拡大損害の原因となります。
- 施工後は必ず手洗いボールや扉のがたつきがないことを確認する
扉の落下によるけがの原因となります。
- 壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する
転倒・落下によるけがの原因となります。
- 施工時は製品の転倒に注意する
けがの原因となります。
- 壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する
十分な強度がない場合は、12mm以上の合板で補強する
転倒・落下によるけがの原因となります。

- ねじ頭が飛び出たままにならないよう最後までしっかりとめる
配管を傷つけ、水漏れの原因となります。
- 排水ジョイントにしわができるないようにホースバンドを締めつける
水漏れの原因となります。
- 水道工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う
水漏れの原因となります。
- 上水道に接続する
故障・肌のかぶれの原因となります。
- 凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う
水漏れなどで家財などに損害を与える原因となります。

施工前の確認

(寸法単位: mm)

<ul style="list-style-type: none"> ● 使用水圧範囲は、0.1 MPa（流動時）～0.75 MPa（静止時）です。 ● ミラーや収納を併設する場合、手洗いボールから先に施工してください。 ● 止水栓および便器は、この製品に含まれておりません。別途お求めください。 ● 製品を固定する壁面は平らに、かつ床面に対して垂直に仕上げてください。幅木などがある場合は、建築側と調整し、製品が壁面にすき間なく固定できるようにしてください。 壁面が平らでない場合、製品が変形し、扉面に著しい段差が生じることがあります。 ● 手洗いボール上部は必ず50mm以上あけてください。 <p>収納やミラー、窓枠を併設する場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本書はL仕様の場合のイラストで説明しています。 R仕様の場合は対称となります。 ● 便器を先に取り付けると排水管が接続できなくなります。必ず、先に排水管を便器に接続してください。 ● 配線工事は必ず電気工事店にご依頼ください。 ● 直射日光のある場所には設置しないでください。 変色するおそれがあります。 ● 湿気の多い場所には設置しないでください。 腐食するおそれがあります。 ● 扉が壁にあたらないよう、扉の吊元やキャビネットの設置位置を確認してください。
---	---

改訂履歴

改訂年月	No.	改訂ページ	改訂内容
2017年2月	1版	4,5	部品同梱箇所修正
		5,16	電源プラグ長さ修正
2017年3月	2版	5	R仕様部材の注記追加
		5,30	ねじ種類・サイズ修正
		6,8	10cm前出しの場合の条件追加
		11	取付プレート(横)の取り付け高さ修正
		14	ボール取付金具のイラスト修正
		28	試運転の手順修正
2017年4月	3版	5,10～14	ゲージのイラスト修正
2017年8月	4版	24	分岐水栓の定流量弁について追記
2018年9月	5版	20～21	アラウーノCH150と接続の場合を追加
2021年2月	6版	20～21	アラウーノCH160と接続の場合を追加
2023年12月	9版	5,29	キャビネット扉の取っ手の仕様を変更

各部のなまえと同梱部品

⚠ 注意



- 施工時は製品の転倒に注意する
けがの原因となります。

本体キャビネット

番号	部品名称	入り数
1	手洗いボール(給水栓付)	1
2	ボール取付金具	1
3	キャビネット	1
4	底板	1
5	幕板	1
6	給水ホース	1
7	分岐水栓	1
8	コントロールユニット ^{*1}	1
9	エルボ付給水ホース ^{*1}	1
10	排水トラップ	1
	11 テールピース	1
	12 Uトラップ	1
	13 PS管	1
14	ねじセット	1
15	エルボ	1
16	L管	1
17	導入L管	1
18	配管取付フック	3
19	ゲージA	1
20	ゲージB	1
21	ゲージC	1
22	ゲージD	1
23	取扱説明書	1
24	施工説明書(本書)	1

*1:自動水栓のみ付属しています。

カウンター

番号	部品名称	入り数
25	取付プレート(横)	1
26	取付プレート(縦)	1
27	カウンター	1
28	L字金具	4
29	金具カバー	4
30	配管カバー(横)	1
31	配管カバー(縦)	1
32	ゴム接続管(ホースバンド付)	1
33	塩ビ管	1

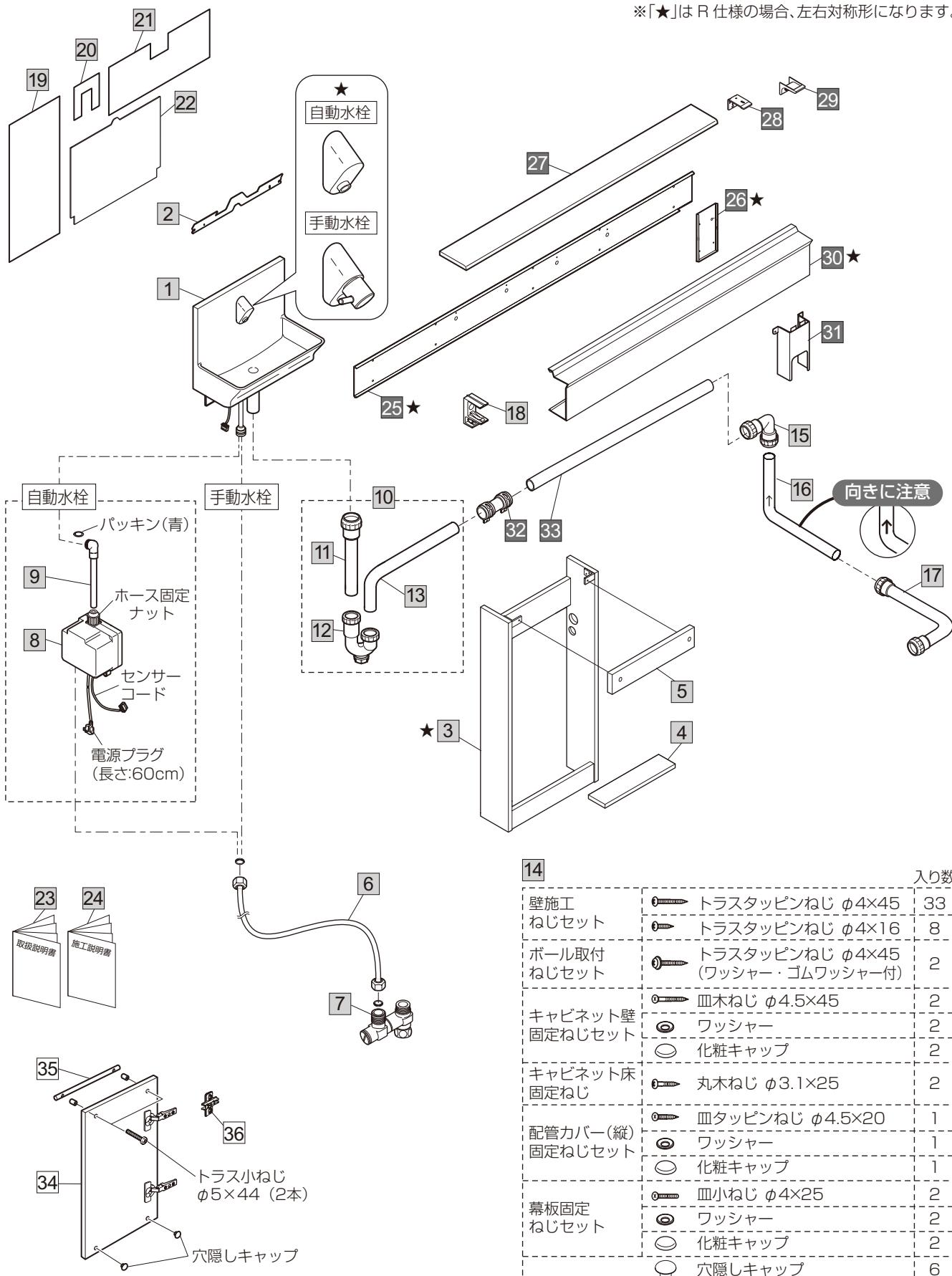
扉

番号	部品名称	入り数
34	扉	1
35	取っ手	1
36	丁番台座	2

(寸法単位: mm)

※イラストはL仕様の場合です。

※「★」はR仕様の場合、左右対称形になります。

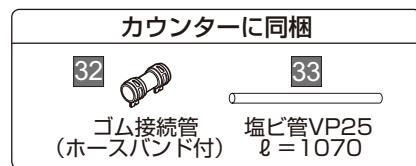
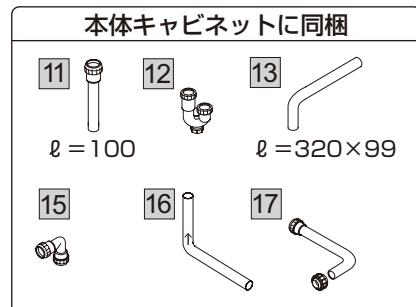
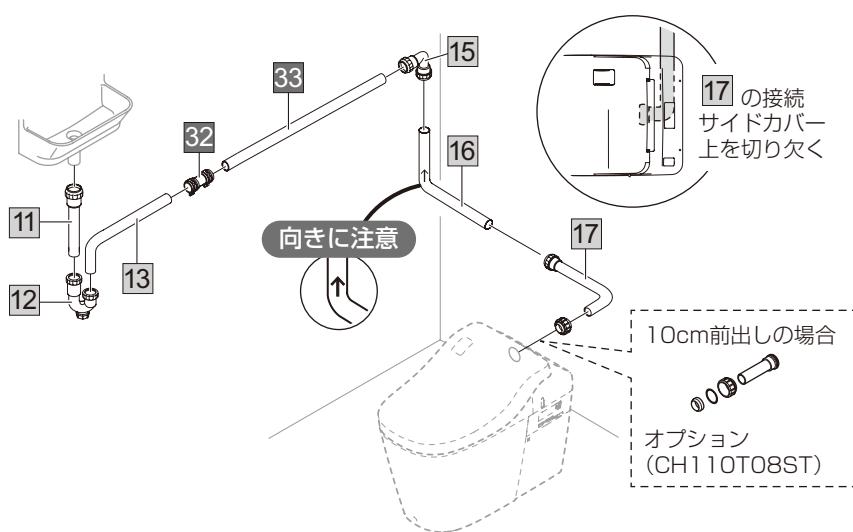
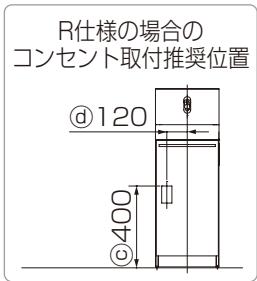
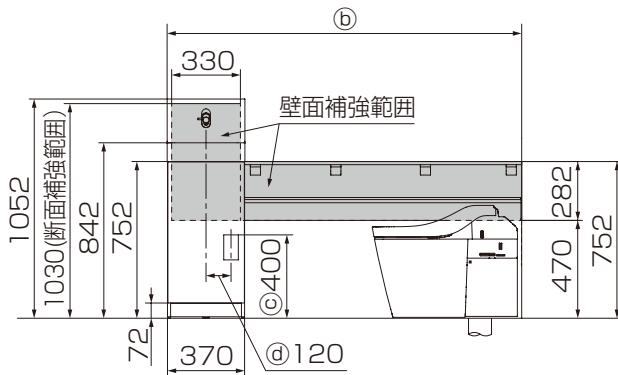
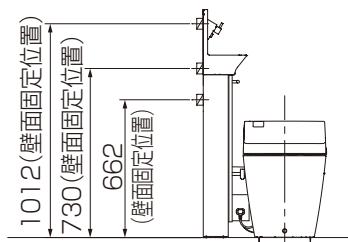
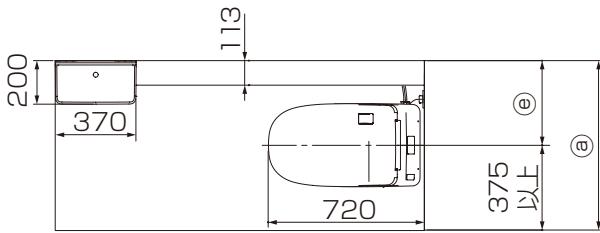


寸法図・配管接続図

(寸法単位: mm)

イラストは L 仕様の場合です。R 仕様は対称になります。

④ : トイレルーム間口寸法 ⑤ : 手洗い奥行き寸法 ⑥ : コンセント取付推奨位置 ⑦ : コンセント取付推奨位置 ⑧ : 便器中心～手洗い設置側壁面	⑨寸法	アームレストなし: 750 ~ 1000mm アームレストあり: 863 ~ 1000mm
	⑩< 815mm の場合	⑪= 1435 ~ 1723mm (10cm 前出し: 1535 ~ 1723mm)
	⑫≥ 815mm の場合	⑬= 1260 ~ 1723mm (10cm 前出し: 1360 ~ 1723mm)
	⑭寸法	アームレストのみ設置: 488mm 以上 アームレストと小物収納を設置: 538mm 以上
⑮寸法が 501 ~ 600mm の場合は、別途延長排水管 (CH110T08ST) が必要です。		



施工チャート

1 止水栓の取り付けと床工事

それぞれのアラウーノの施工説明書に
したがって行ってください。

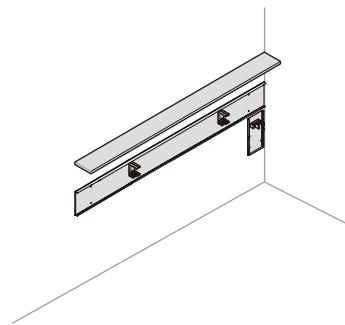
2 部材の加工

仕上がり寸法に合わせて、
部材を加工してください。

8 ページ

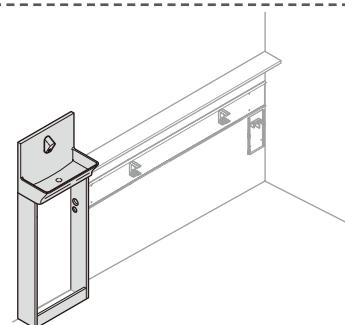
3 カウンターの取り付け

10 ページ



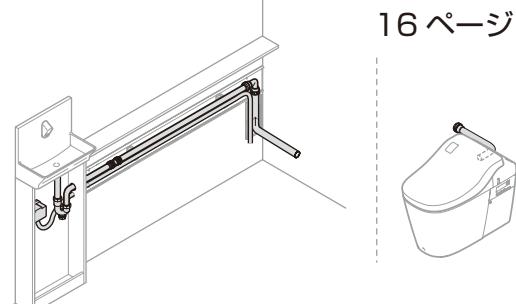
4 キャビネット・手洗いボールの取り付け

14 ページ



5 給排水管の取り付け

16 ページ

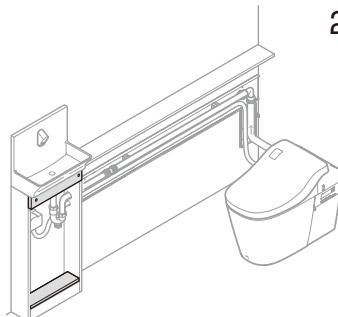


6 便器の取り付け

それぞれのアラウーノの施工説明書に
したがって行ってください。

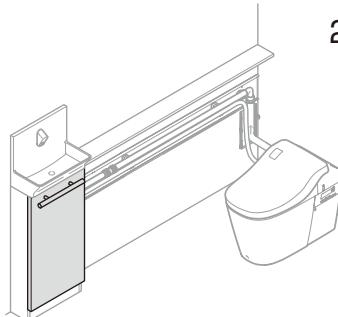
7 仕上げ（給排水の接続）

27 ページ



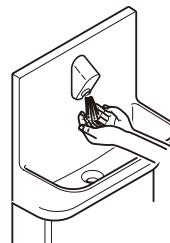
8 扉の取り付け

29 ページ



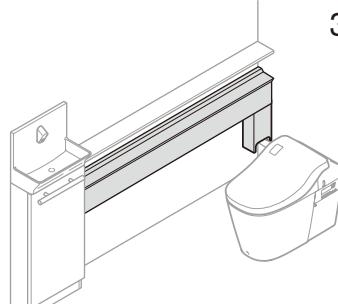
9 試運転と確認

31 ページ



10 配管カバーの取り付け

33 ページ



施工手順

L仕様

●本書はL仕様のイラストで説明しています。
R仕様の場合は対称となります。

1 止水栓の取り付けと床工事

それぞれのアラウーノの施工説明書にしたがって作業を行ってください。

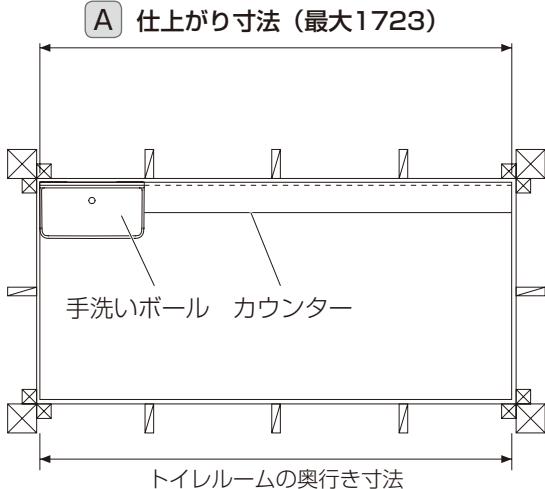
2 部材の加工

1 仕上がり寸法を確認する

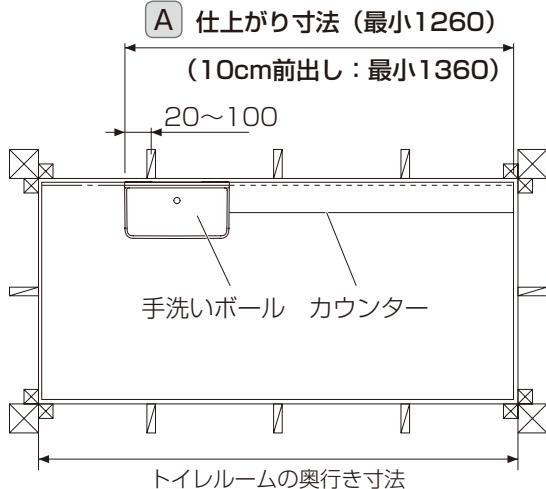
水道の元栓を締め、近くの蛇口などで給水が止まっていることをご確認ください。

A寸法を確認する。

ウォールトゥウォールにする場合



ウォールトゥウォールにしない場合



※トイレルームの奥行き寸法と同じ長さになります。

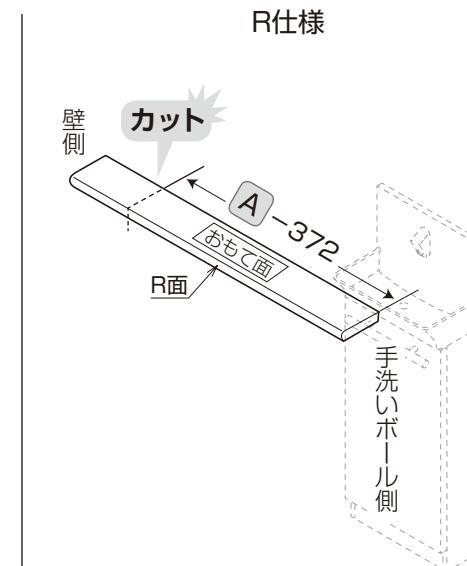
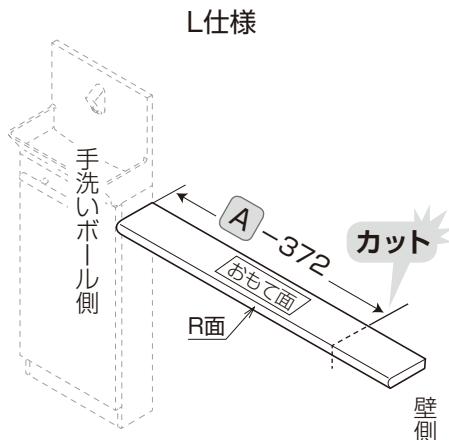
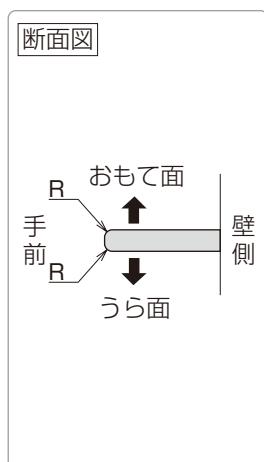
※ご希望の長さを設定してください。(間口や取り付ける便器によって対応範囲が異なります。)

(寸法単位: mm)

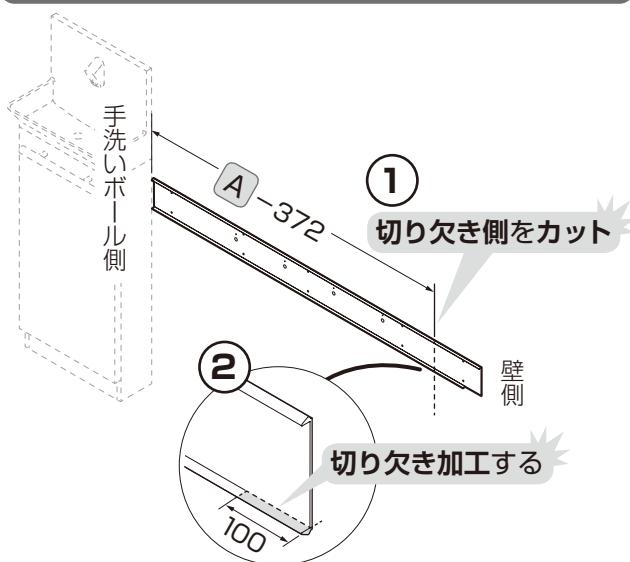
2 部材をカットする

現場に合わせて部材を丸のこなどでカットする。
カット後、端面のバリを取ってください。

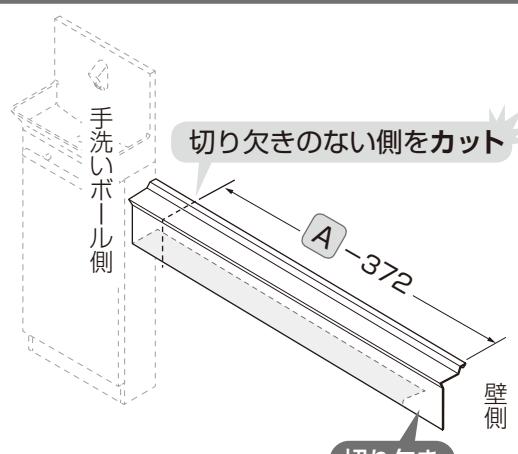
カウンター



取付プレート（横）

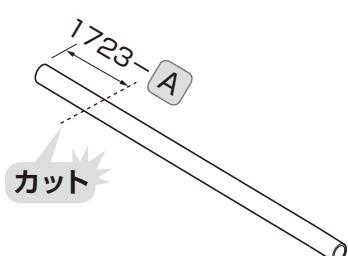


配管カバー（横）



施工手順

塩ビ管

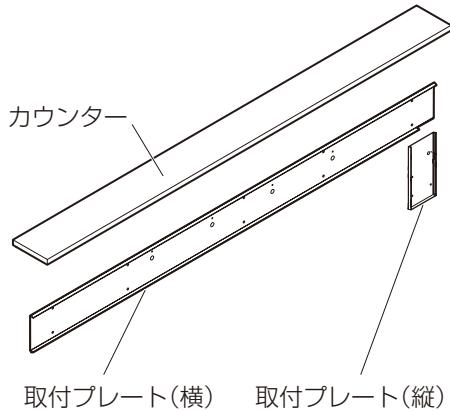


幅木がある場合

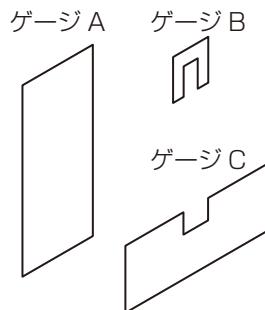
幅木に合わせて、キャビネットをカットしてください。

3 カウンターの取り付け

部品の確認



- 配管取付フック(3個)
- L字金具(最大4個)
- 金具カバー(最大4個)
- トラスタッピンねじ
 $\phi 4 \times 45$ (最大28本*)
※取付プレートのカットにより変わります。
- トラスタッピンねじ
 $\phi 4 \times 16$ (8本)



⚠ 注意

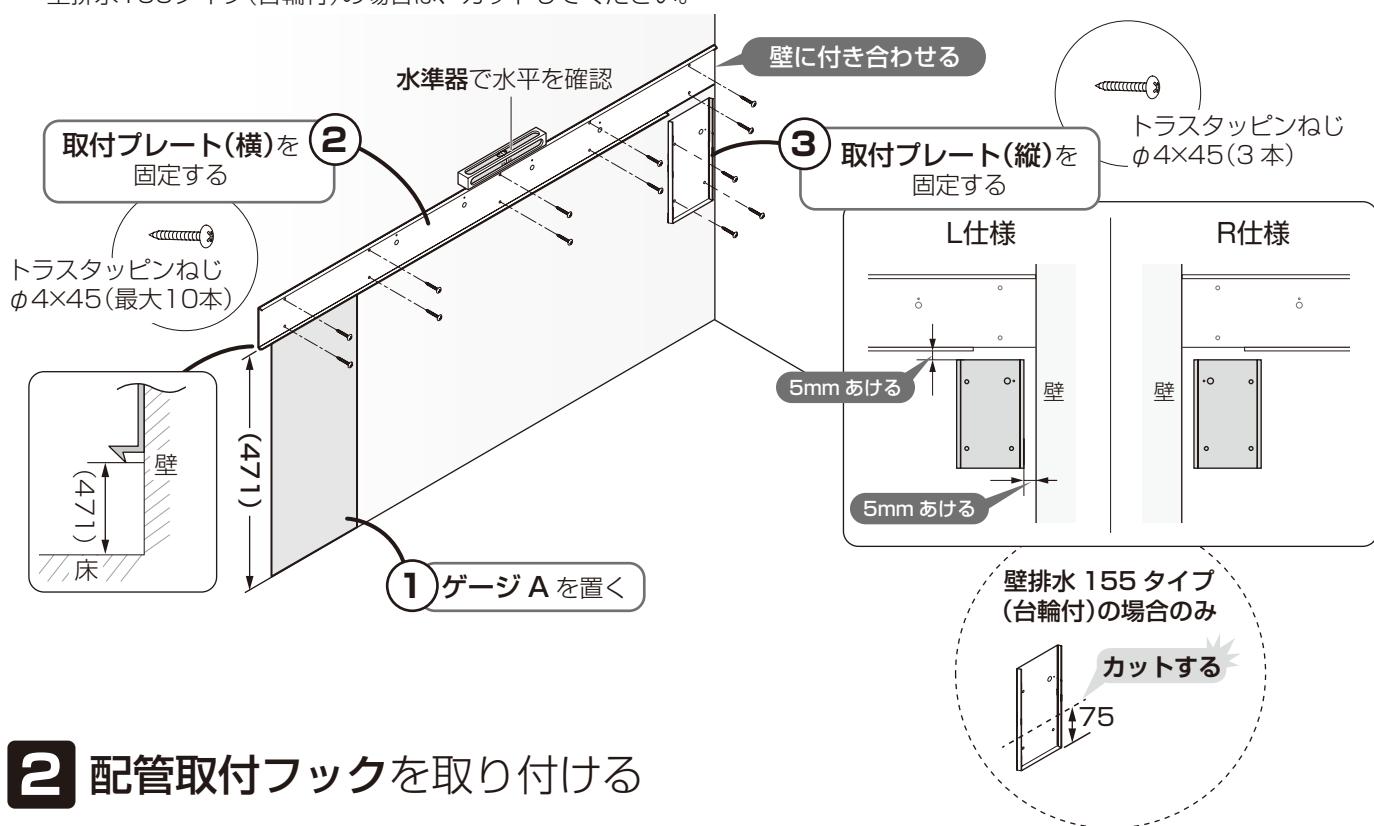


- 壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する十分な強度がない場合は、12mm以上の合板で補強する
転倒・落下によるけがの原因となります。
- 壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する
転倒・落下によるけがの原因となります。
- ねじ頭が飛び出たままにならないように最後までしっかりとめる
配管を傷つけ、水漏れの原因となります。

(寸法単位: mm)

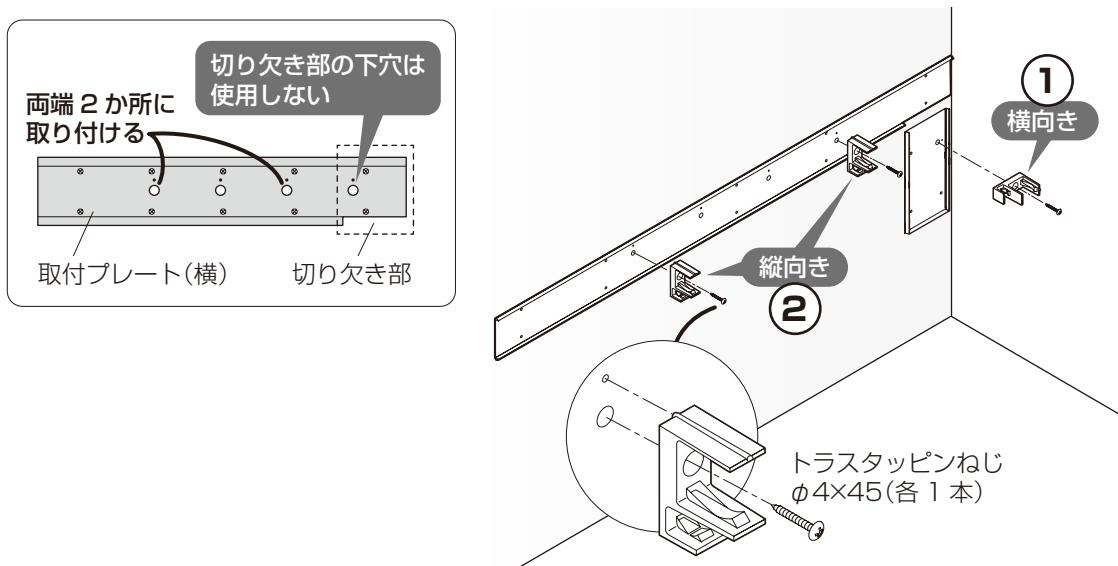
1 取付プレートを取り付ける

- ① ゲージAを壁につけて床に置く。
 - ・キャビネット側に置いてください。
 - ・必ずゲージAをご使用ください。
- ② ゲージAの上に取付プレート(横)を置き、ねじで固定する。(最大10か所)
 - 水準器で取付プレート(横)が水平になっていることを確認してください。
- ③ 取付プレート(縦)をねじで固定する。(3か所)
 - 壁排水155タイプ(台輪付)の場合は、カットしてください。



2 配管取付フックを取り付ける

- ① 取付プレート(縦)に取り付ける。(横向き・1か所)
- ② 取付プレート(横)に取り付ける。(縦向き・両端に2か所)
 - 壁側の下穴が切り欠き部にある場合は、切り欠き部より内側の下穴に取り付けてください。



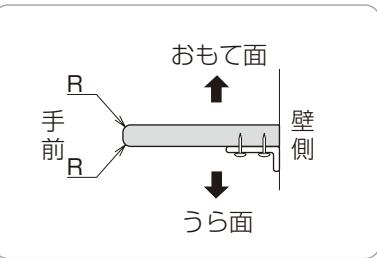
施工手順

L仕様

3 カウンターにL字金具を取り付ける

お願い

- カウンターのおもて面に傷が付かないように注意してください。
- 小物収納を取り付ける場合は、左右片側を50mm空けてください。
(両側をふさぐと、小物収納の開閉ができません。)

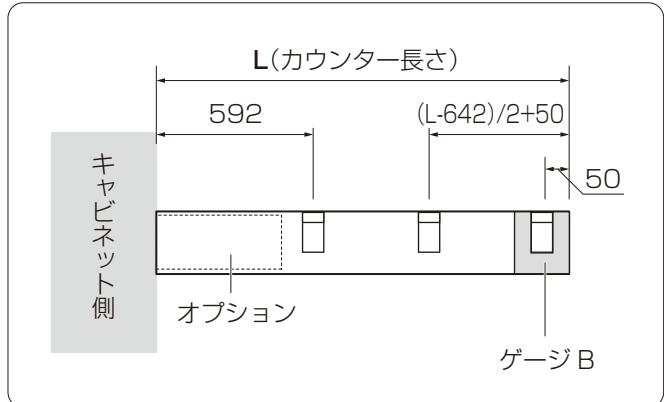
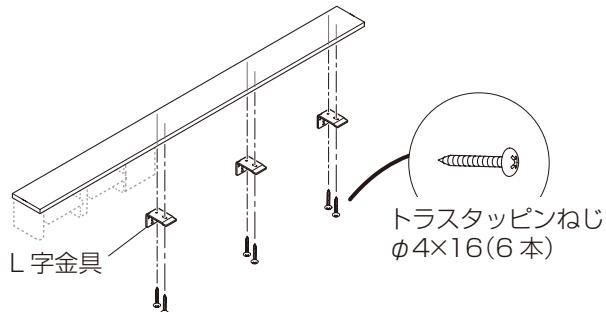


■ L字金具取り付け位置

オプションあり	二連ペーパーホルダー + 小物収納	A
	二連ペーパーホルダー	A
	小物収納	B
オプションなし		B

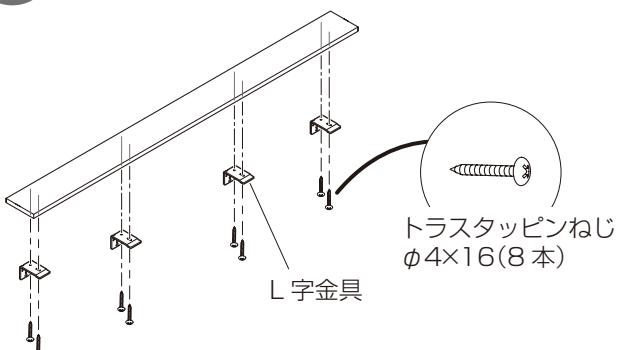
A

二連ペーパーホルダー + 小物収納を設置する場合、二連ペーパーホルダーを設置する場合

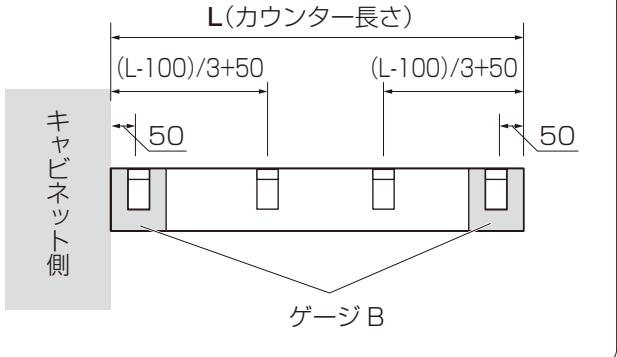


B

小物収納を設置する場合、オプションなしの場合



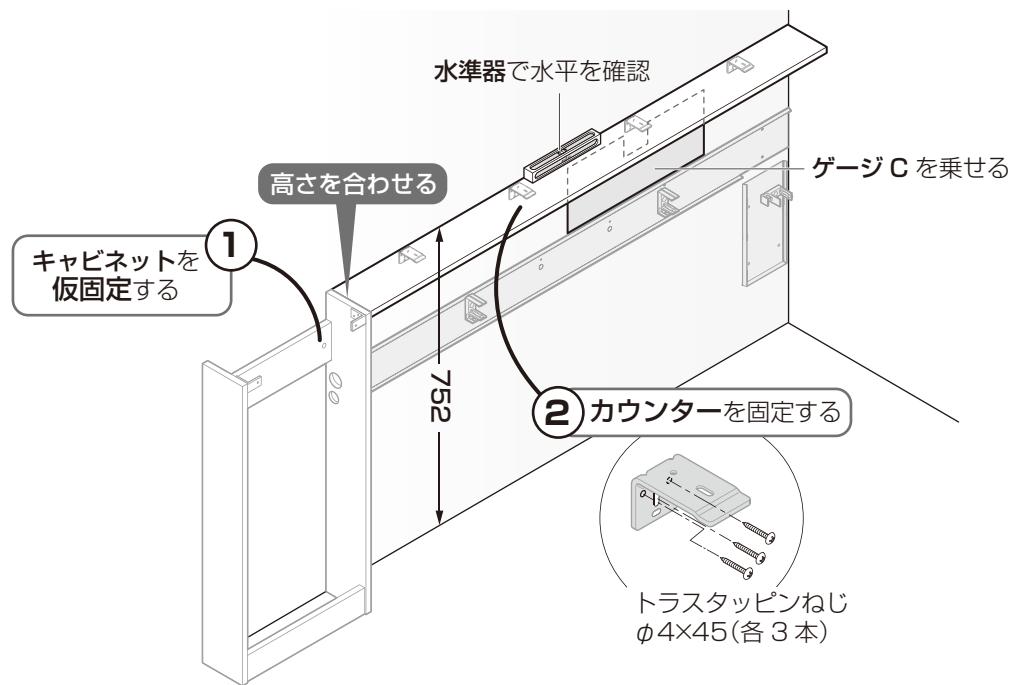
※推奨取付位置



(寸法単位 : mm)

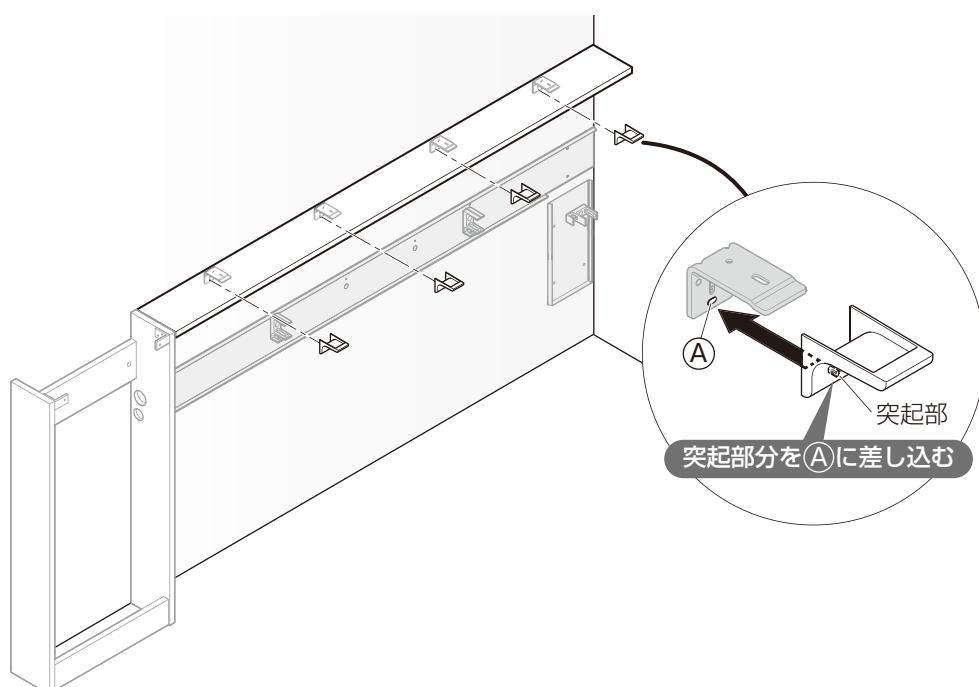
4 カウンターを固定する

- ① キャビネットを仮固定する。
- ② キャビネットとカウンターの高さを合わせ、L字金具を壁にねじ固定する。(各3か所)
 - ・ゲージCを使うと作業しやすくなります。
 - ・水準器でカウンターが水平になっていることを確認してください。



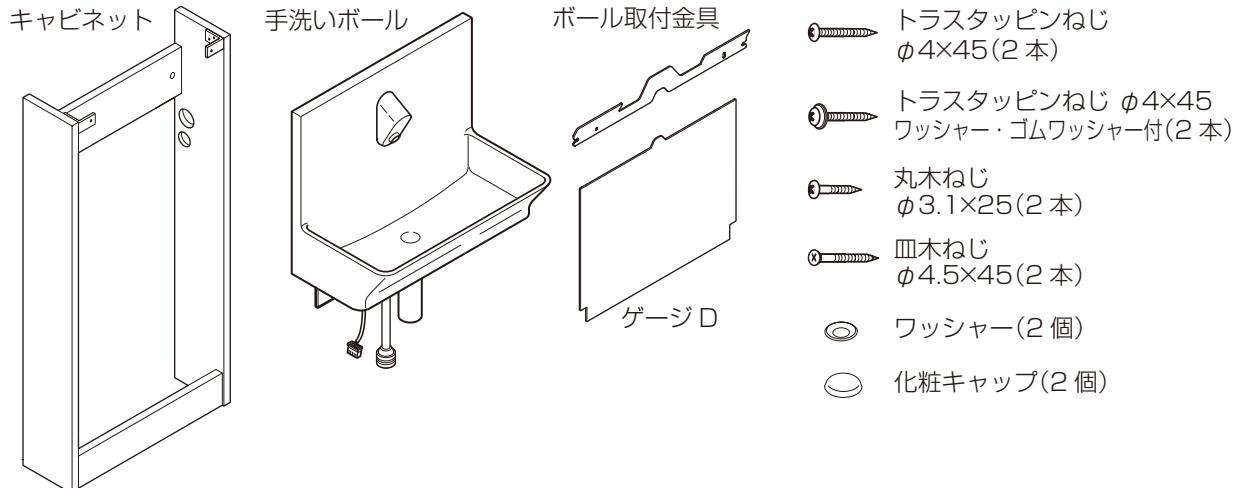
カウンターの取り付け

5 金具カバーを取り付ける



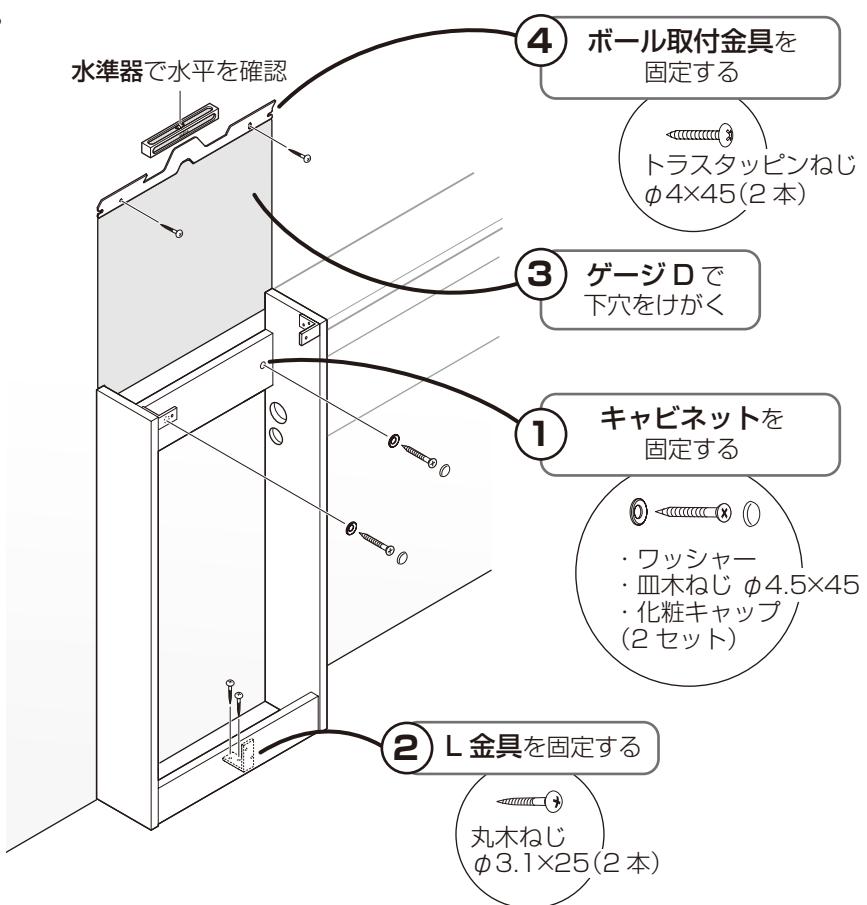
4 キャビネット・手洗いボールの取り付け

部品の確認



1 キャビネット、ボール取付金具を取り付ける

- ① キャビネットを壁にねじで固定する。
(2か所)
- ② L金具を床面にねじで固定する。
(2か所)
- ③ ゲージDをキャビネットの上に置き、下穴をけがく。
- ④ ボール取付金具を下穴に合わせて、壁にねじで固定する。(2か所)
水準器を使用し、水平に固定してください。

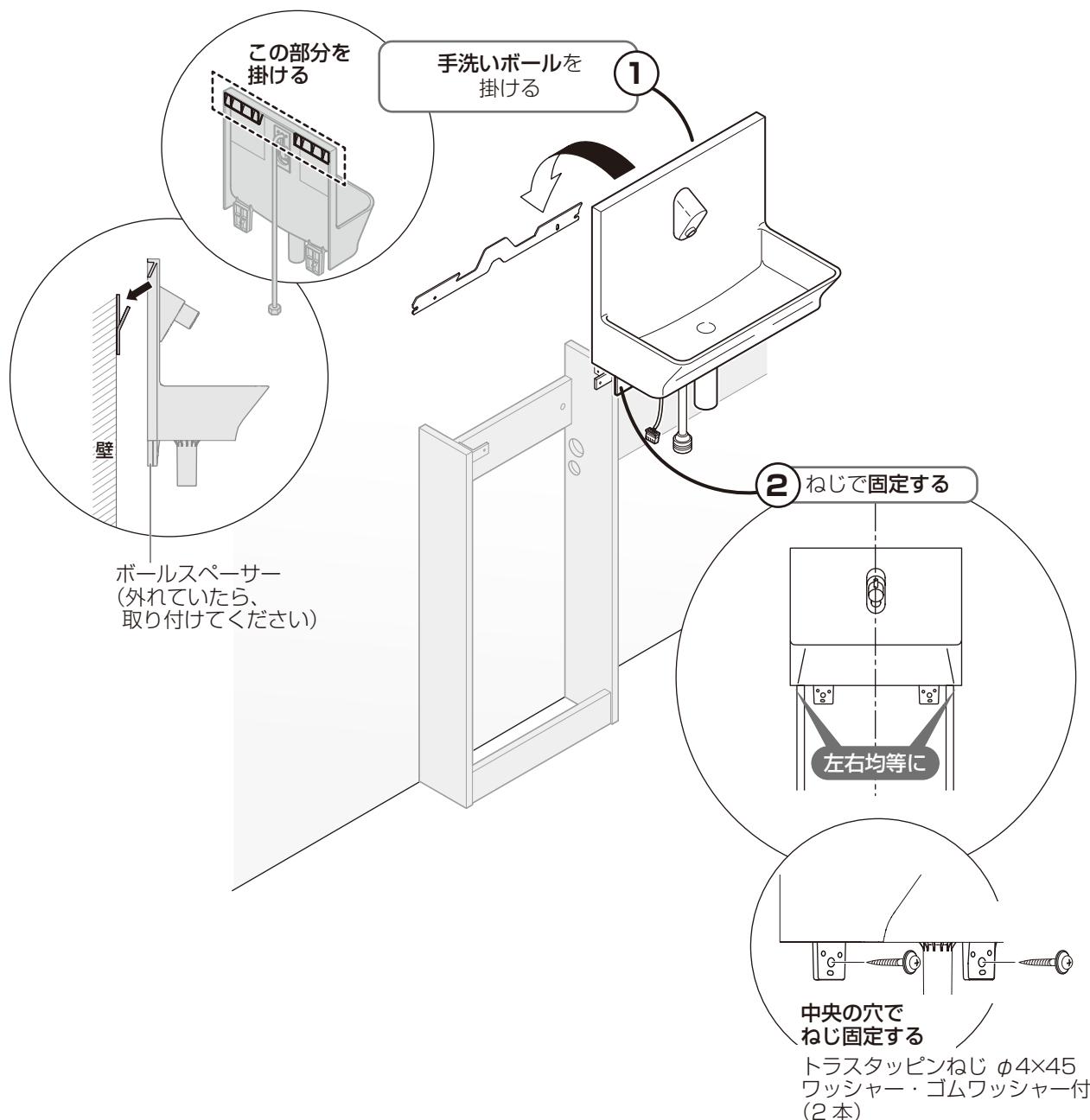


(寸法単位: mm)

2 手洗いボールを取り付ける

① 手洗いボールをボール取付金具に掛ける。

② ねじで固定する。(2か所)



5 給排水管の取り付け

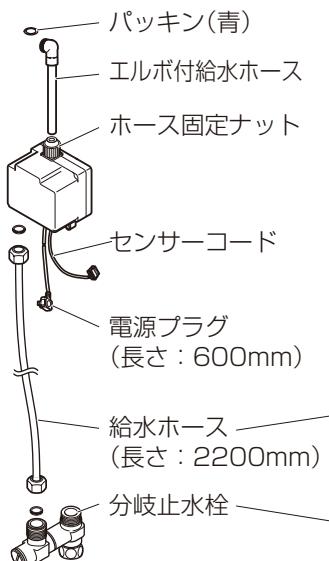
お願い

- ・止水栓は閉じてください。
- ・給水ホースが短い場合は、オプションの給水ホース（品番：CH110RT08）を、別途手配してください。

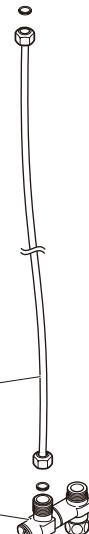
部品の確認

給水

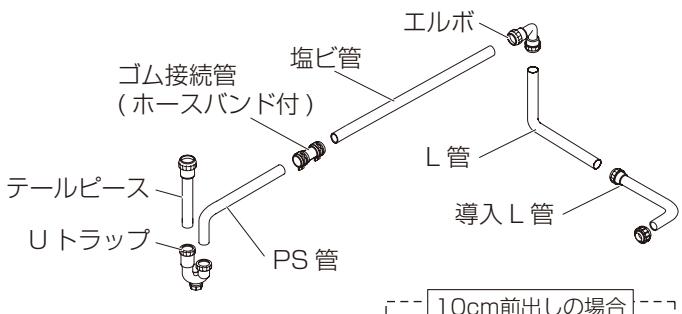
自動水栓の場合



手動水栓の場合



排水

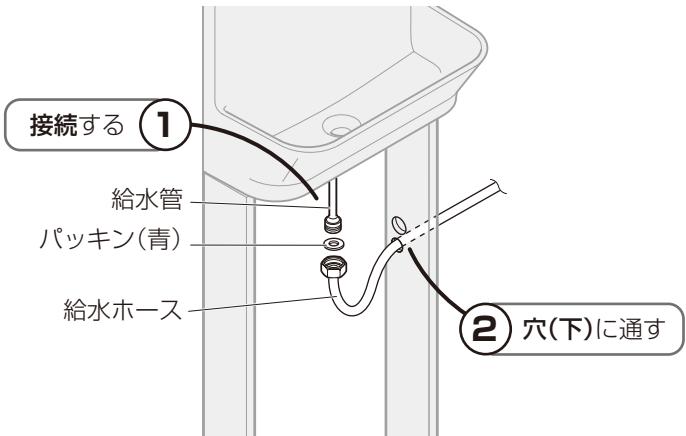


10cm前出しの場合
延長排水管(オプション)
(CH110T08ST)

手動水栓の場合

1 給水管を取り付ける

- ① 水栓の給水管と給水ホースを接続する。
- ② 給水ホースをキャビネット側板の穴(下)に通す。



(寸法単位: mm)

自動水栓の場合

1 コントロールユニットを取り付ける

① 水栓の給水管とエルボ付給水ホースを接続する。

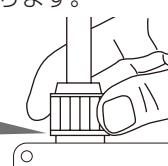
② エルボ付給水ホースをコントロールユニットに差し込む。

ホース固定ナットを一度コントロールユニットから外し、エルボ付給水ホースに通してください。
エルボ付給水ホースは、水をつけると差し込みやすくなります。

お願い

すき間がないように、手で
しっかり締めてください。

すき間がないように



③ コントロールユニットに給水ホースを接続する。

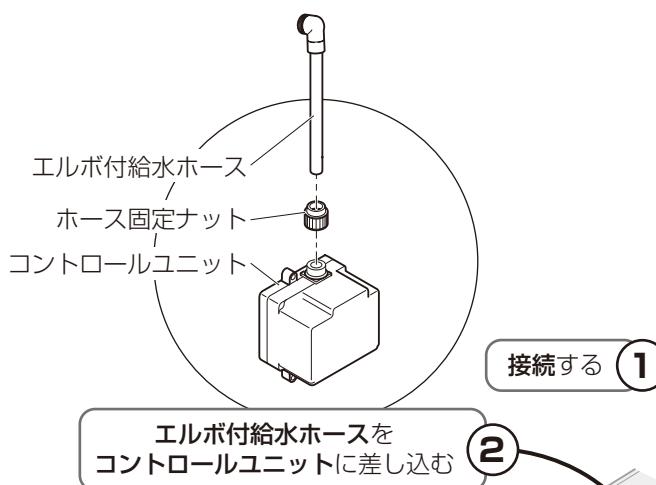
給水ホースは、キャビネット側板の穴(下)に通してください。

④ コントロールユニットを壁にねじで固定する。(2か所)

エルボ付給水ホースに折れやねじれがないように取り付けてください。

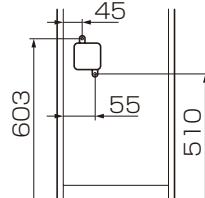
⑤ センサーコードを接続する。

「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

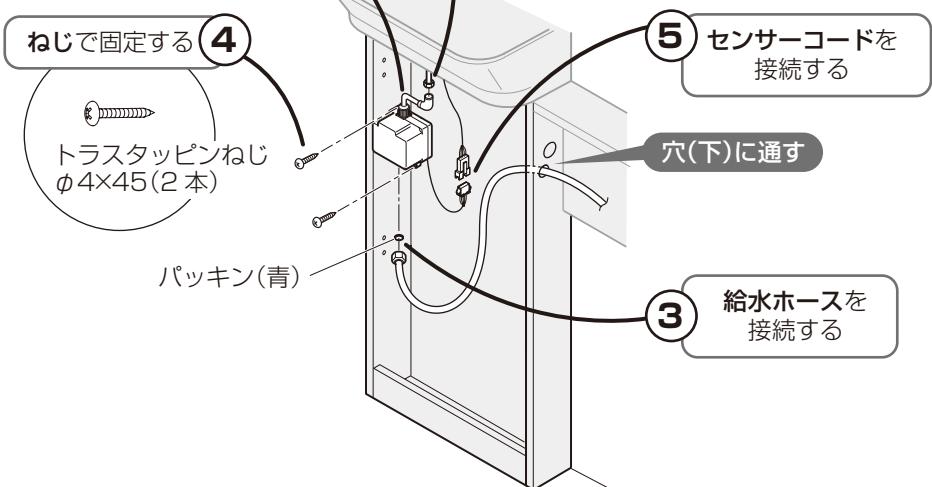
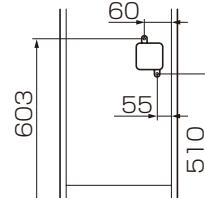


■コントロールユニット取付位置

L仕様



R仕様



施工手順

L仕様

2 塩ビ管、排水トラップを接続する

① 塩ビ管とPS管をゴム接続管で接続する。

- ・現場寸法に合わせて塩ビ管をカットしてください。(9ページ参照)
- ・ゴム接続管は、ホースバンドのとめ具を工具で引き抜いて、しっかりと接続してください。

お願い

- ・ゴム接続管が取り付けにくい場合は、水をつけてください。
- ・ホースバンドのとめ具を引き抜くときは、必ず塩ビ管かPS管を持ってください。
(ゴム接続管を持って引き抜くと、けがのおそれがあります。)

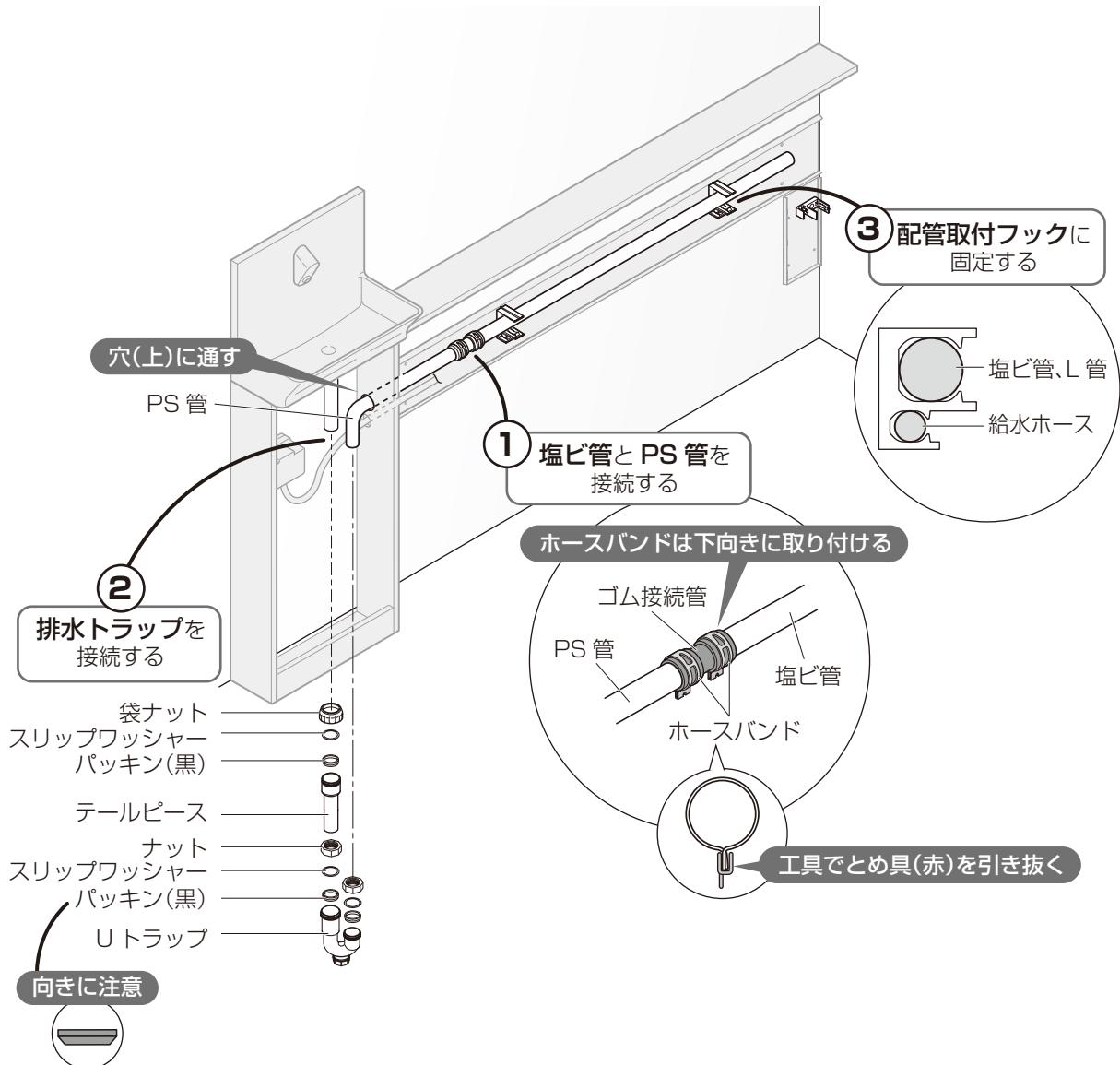
② 排水トラップを接続する。

- ・しっかりと接続してください。
接続が緩いと水漏れの原因となります。

③ 塩ビ管を配管取付フックに固定する。

お願い

- ・パッキンの取り付け向きに注意してください。
- ・流出方向に1/100の流れ勾配を確認してください。



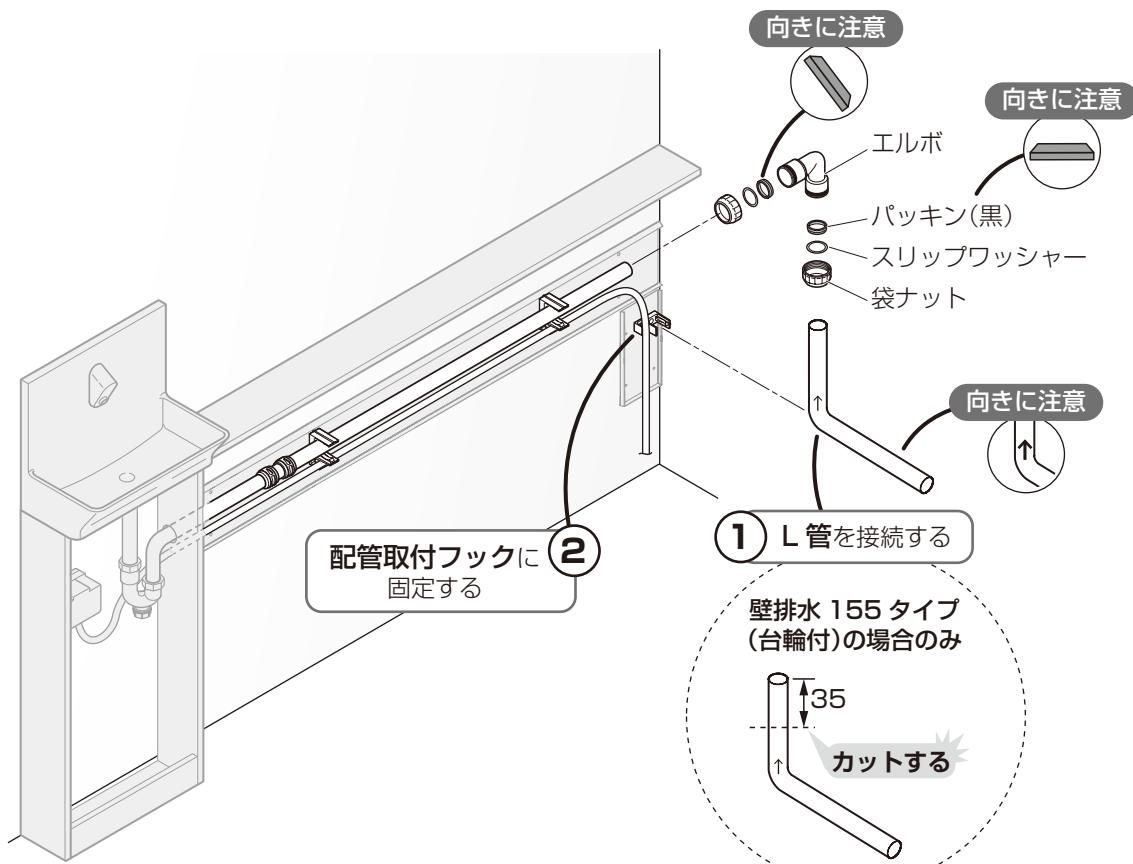
(寸法単位: mm)

3 L管を接続する

- ① L管を接続する。
壁排水155タイプ(台輪付)の場合はL管をカットしてください。
- ② L管、給水ホースを配管取付フックに固定する。

お願い

- ・パッキンの取り付け向きに注意してください。
- ・給水ホースが折れ曲がらないように注意してください。



施工手順

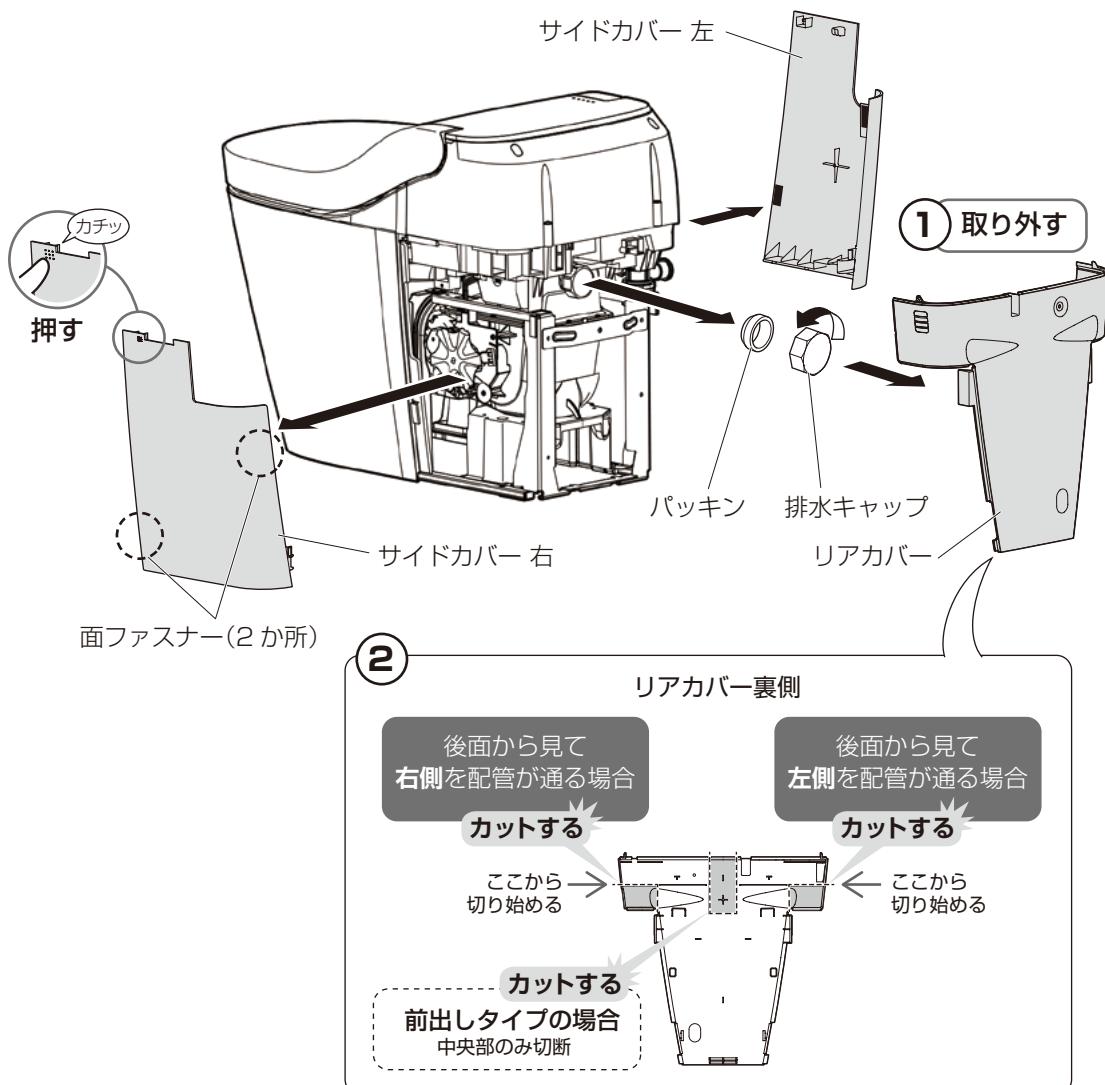
L仕様

4 導入 L 管を取り付ける

CH160 と接続する場合

お願い 便器を先に取り付けると排水管が接続できなくなります。
必ず、先に排水管を便器に接続してください。

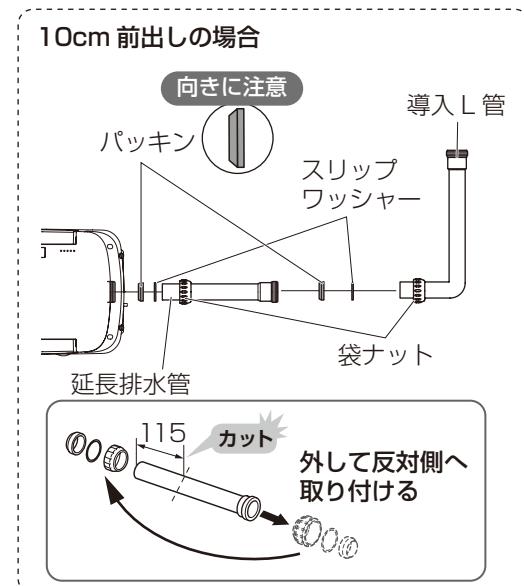
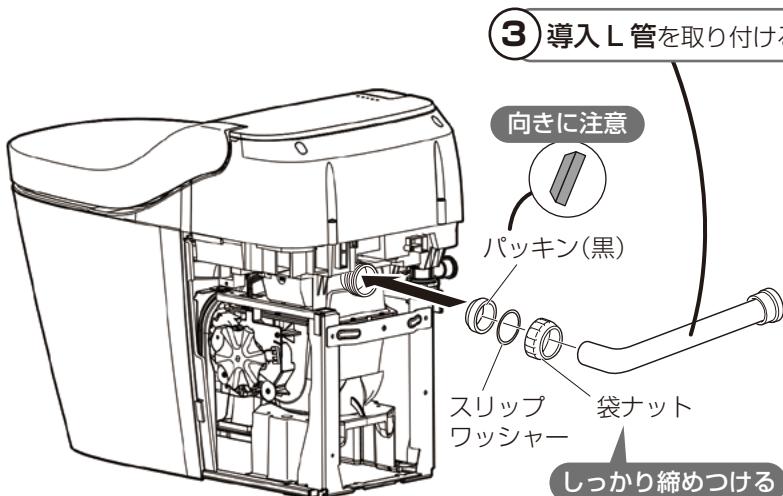
- ① 便器のサイドカバー（左・右）、リアカバー、排水キャップ、パッキンを取り外す。
 - ・排水キャップが外しにくい場合は工具を使ってください。
 - ・取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。
- ② リアカバーを加工する。
 - ・塩ビのこなどでカットしてください。
 - ・カット後、切断部のバリを取り除いてください。



(寸法単位: mm)

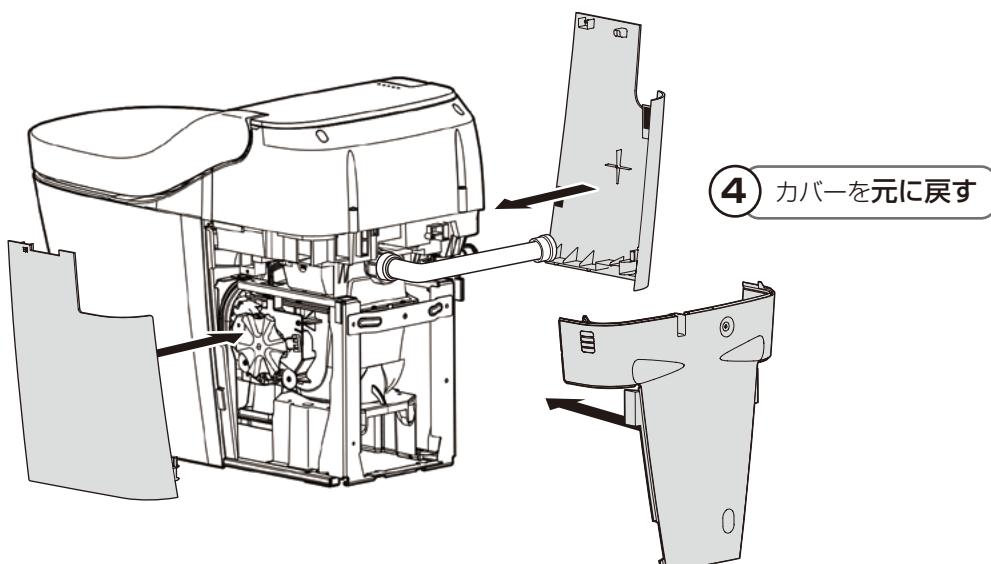
③ 導入L管を取り付ける。

- ・袋ナットをしっかりと締めてください。
- ・10cm前出しの場合は延長排水管を115mmカットし、先に延長排水管を取り付けてください。



④ リアカバーとサイドカバー(左・右)を元に戻す。

- ・導入L管が奥まで差し込まれていないとリアカバーが閉まりません。
- ・リアカバーは、上部を本体に差しこみ、たわませて下部をはめてください。



施工手順

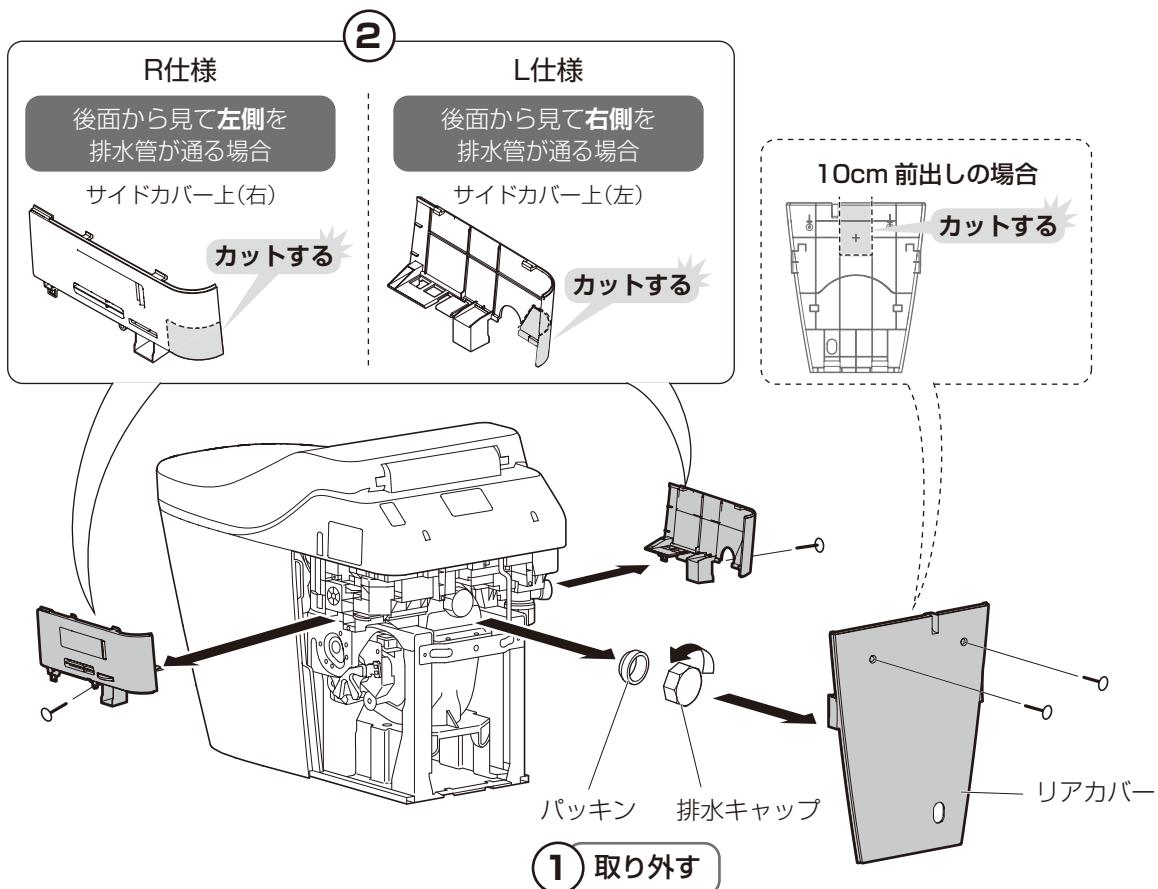
L仕様

CH150 と接続する場合

お願い

便器を先に取り付けると排水管が接続できなくなります。
必ず、先に排水管を便器に接続してください。

- ① 便器のサイドカバー上(左・右)、リアカバー、排水キャップ、パッキンを取り外す。
 - ・取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。
- ② サイドカバーを加工する。
 - ・塩ビのこなどでカットしてください。
 - ・10cm前出しの場合は、リアカバーをカットしてください。(サイドカバーの加工は不要です)
 - ・カット後、切断部のバリを取り除いてください。

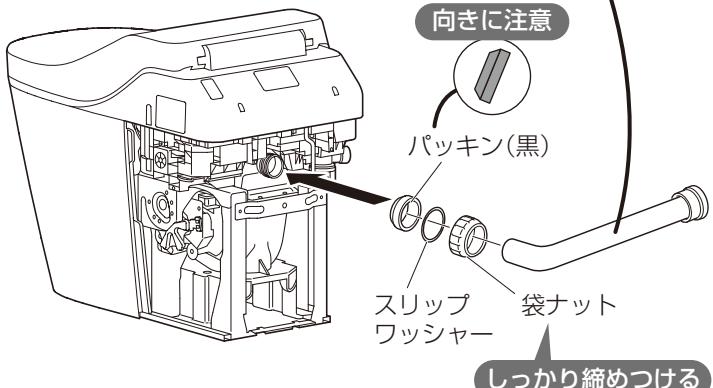


(寸法単位: mm)

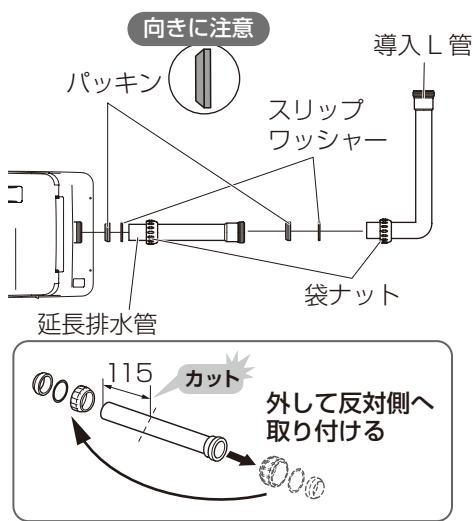
③ 導入L管を取り付ける。

- 袋ナットをしっかりと締めてください。
- 10cm前出しの場合は延長排水管を115mmカットし、先に延長排水管を取り付けてください。

③ 導入L管を取り付ける



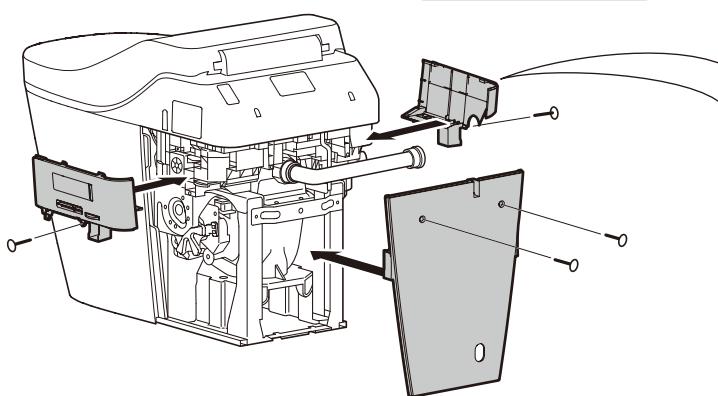
10cm 前出しの場合



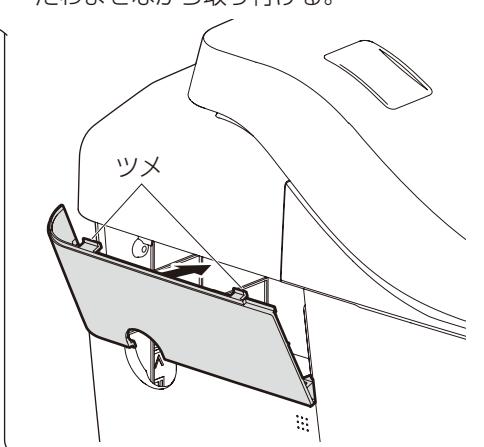
④ リアカバーとサイドカバー上(左・右)を元に戻す。

導入L管が奥まで差し込まれていないとリアカバーが閉まりません。

④ カバーを元に戻す



ツメを差し込み口に合わせ、たわませながら取り付ける。



施工手順

L仕様

CH141・CH140・CH3010と接続する場合

お願い

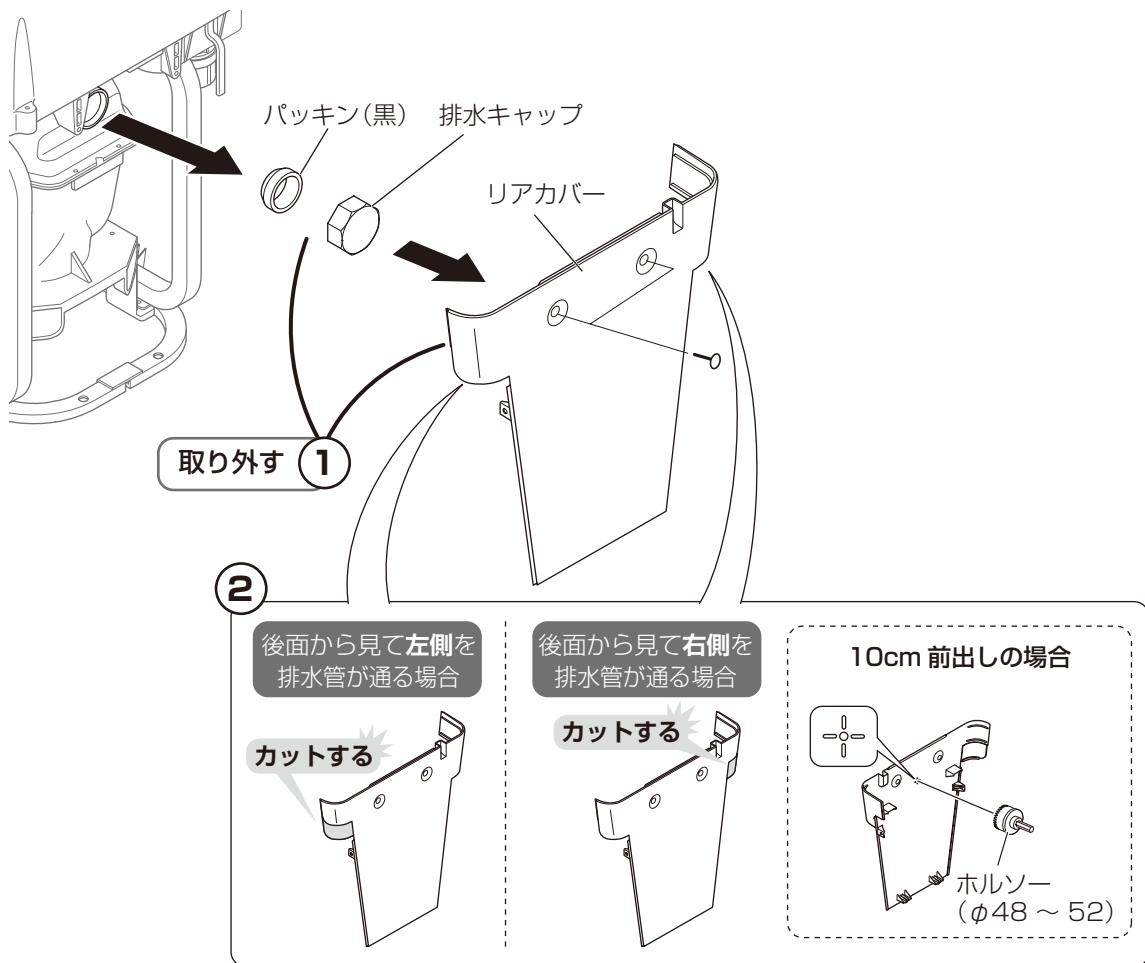
便器を先に取り付けると排水管が接続できなくなります。
必ず、先に排水管を便器に接続してください。

① 便器のリアカバー、排水キャップ、パッキンを取り外す。

取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。

② リアカバーを加工する。

- ・塩ビのこなどでカットしてください。
- ・10cm前出しの場合は、裏側からホルソー（ $\phi 48 \sim 52$ ）で穴を開けてください。
- ・カット後、切断部のバリを取り除いてください。



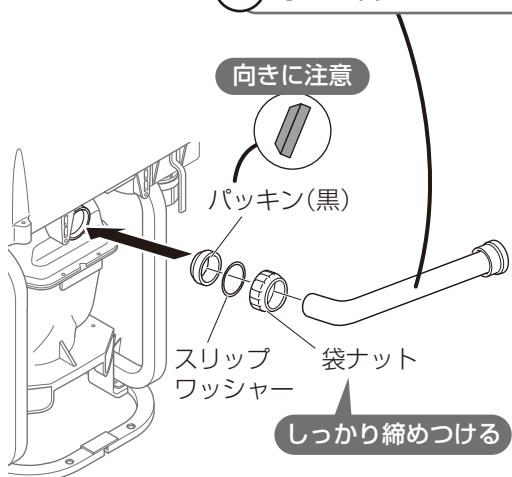
(寸法単位: mm)

※図はCH140の場合です。

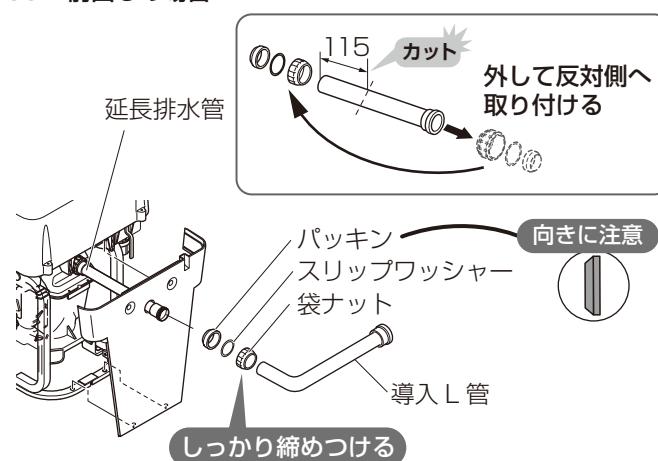
③ 導入L管を取り付ける。

- 袋ナットをしっかりと締めてください。
- 10cm前出しの場合は延長排水管を115mmカットし、先に延長排水管を取り付けてください。

③ 導入L管を取り付ける

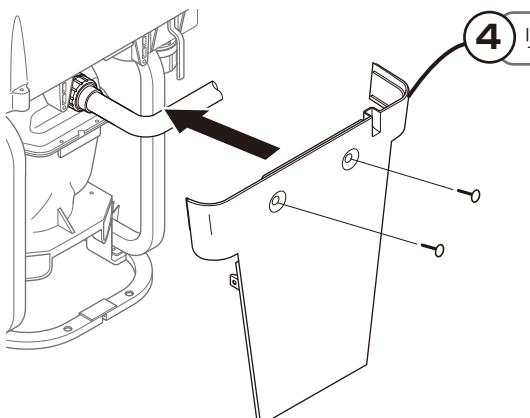
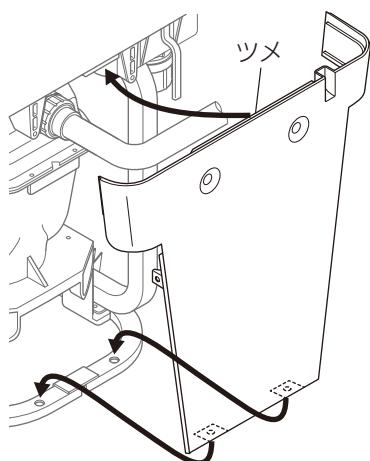


10cm 前出しの場合



④ リアカバーを元に戻す。

④ リアカバーを元に戻す

ツメを差し込み口に合わせ、
下部をたわませながら取り付ける。

施工手順

L仕様

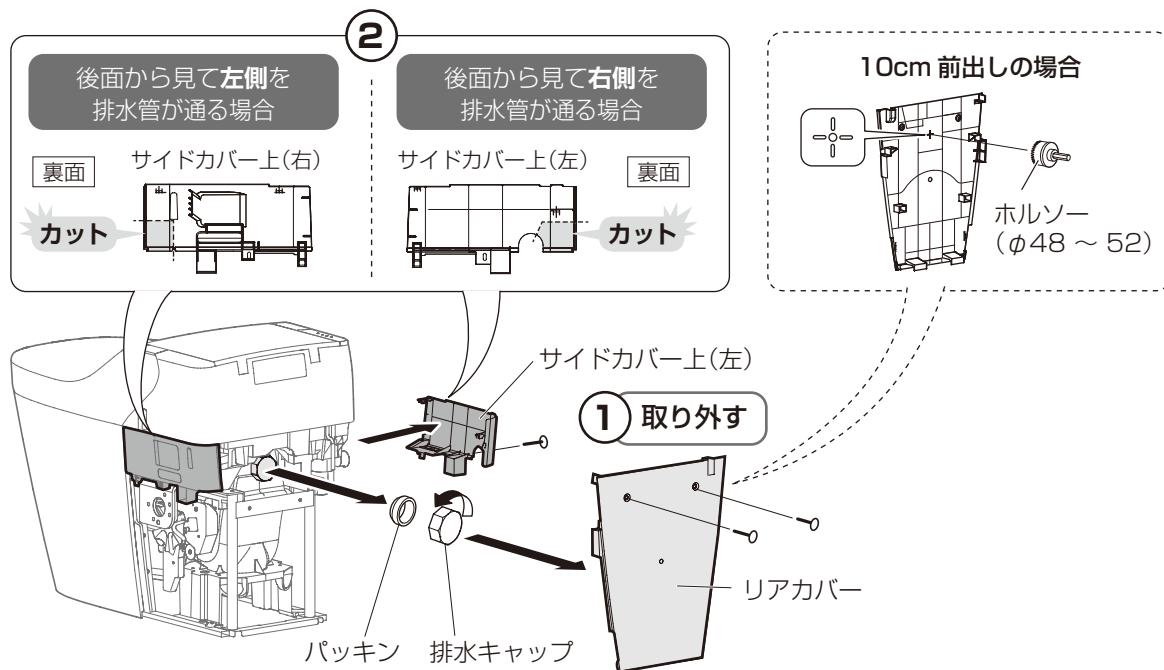
CH130と接続する場合

お願い

便器を先に取り付けると排水管が接続できなくなります。
必ず、先に排水管を便器に接続してください。

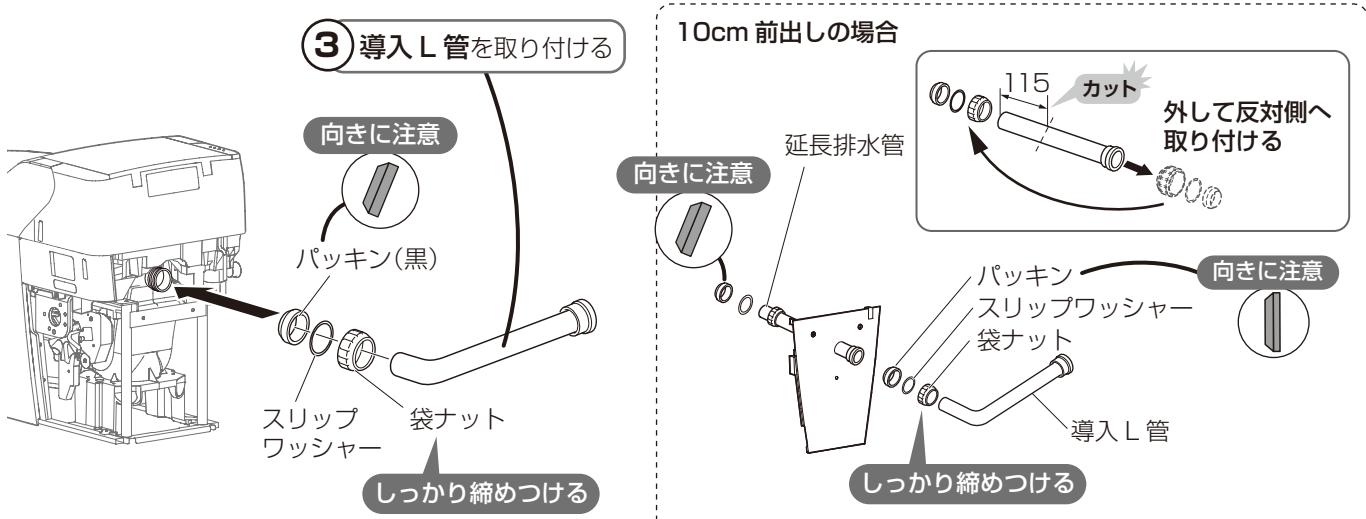
- ① 便器のサイドカバー上、リアカバー、排水キャップ、パッキンを取り外す。
手洗いユニットを設置する側のサイドカバー上を外してください。
取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。

- ② サイドカバーを加工する。
・塩ビのこなどでカットしてください。
・10cm前出しの場合は、リアカバーの裏側からホールソー（ $\phi 48 \sim 52$ ）で穴を開けてください。
・カット後、切断部のバリを取り除いてください。



- ③ 導入L管を取り付ける。
・袋ナットをしっかりと締めてください。
・10cm前出しの場合は延長排水管を115mmカットし、先に延長排水管を取り付けてください。

- ④ リアカバー、サイドカバー上を元に戻す。
導入L管が奥まで差し込まれていないとリアカバーが閉まりません。



(寸法単位: mm)

6 便器の取り付け

便器の取り付けは、それぞれのアラウーノの施工説明書にしたがって行ってください。

7 仕上げ

1 L管と導入L管を接続する

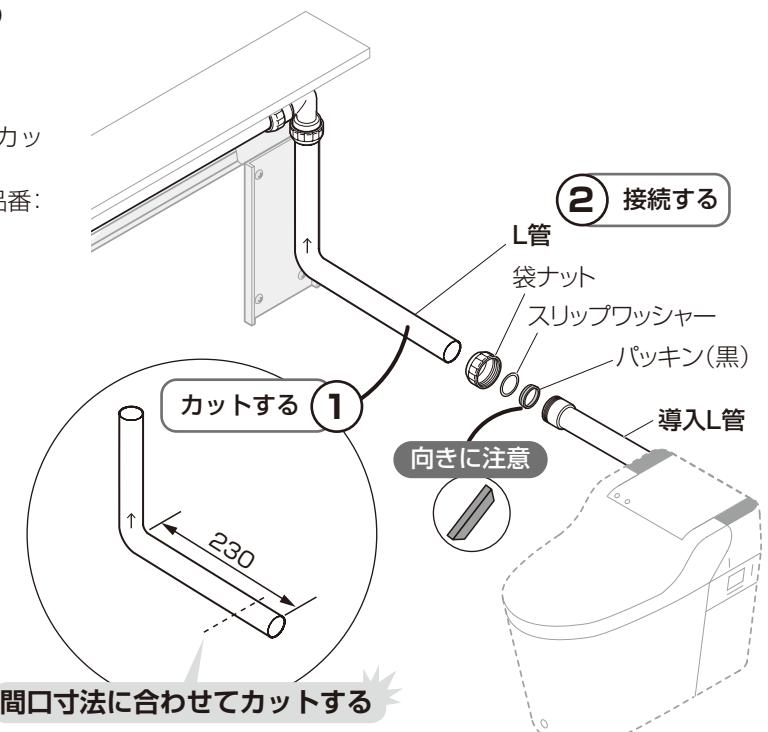
① 間口寸法に合わせてL管をカットする。

- ・排水管接続部の差し込みしろを十分確保した長さでカットしてください。
- ・間口寸法が1000mm以上の場合、オプション部材(品番: CH110T08ST)を、別途手配してください。

② L管と導入L管を接続する。

お願い

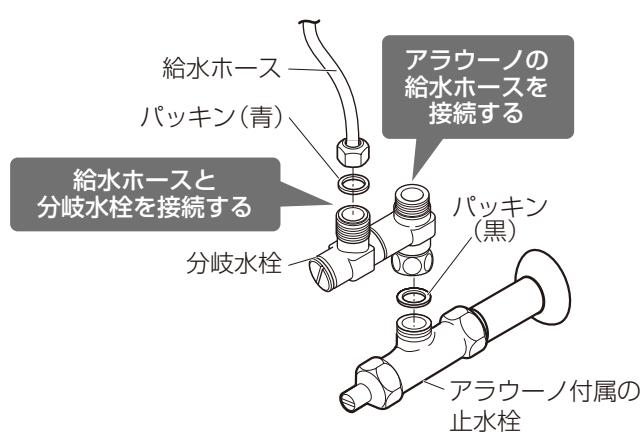
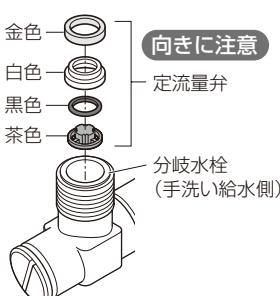
- ・逆勾配にならないように注意してください。
- ・袋ナットをしっかりと締めて接続してください。



2 アラウーノ付属の止水栓と分岐水栓を接続する

お願い

- ・必ずアラウーノ付属の止水栓を取り付けてください。異なる止水栓を取り付けると、便器洗浄の水量が減るなどの問題が生じるおそれがあります。
- ・給水ホースが短い場合は、オプションの給水ホース(品番:CH110RT08)を別途手配し、延長してください。
- ・分岐水栓(手洗い給水側)の定流量弁が外れた場合は、必ず元に戻してください。定流量弁は一定流量を保持するための部品です。正しく取り付けないと、流量が増えるなどの問題が生じます。



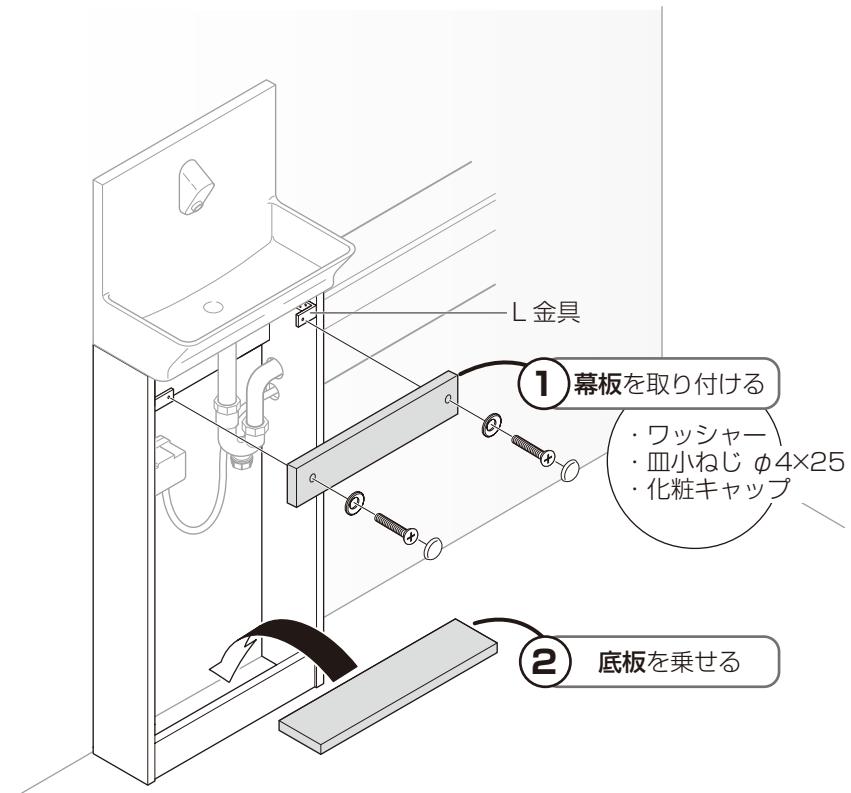
仕上げ

施工手順

L仕様

3 幕板・底板を取り付ける

- ① 幕板をL金具にねじで固定する。(2か所)
がたつきのないように取り付けてください。
- ② 底板をキャビネット底部に乗せる。



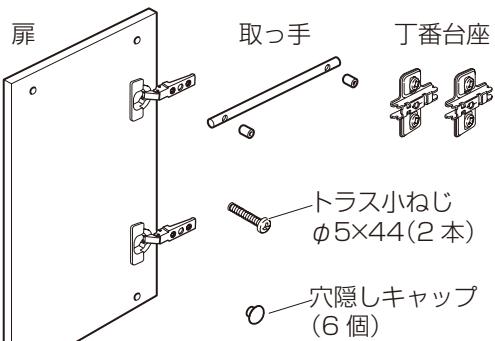
(寸法単位: mm)

8扉の取り付け

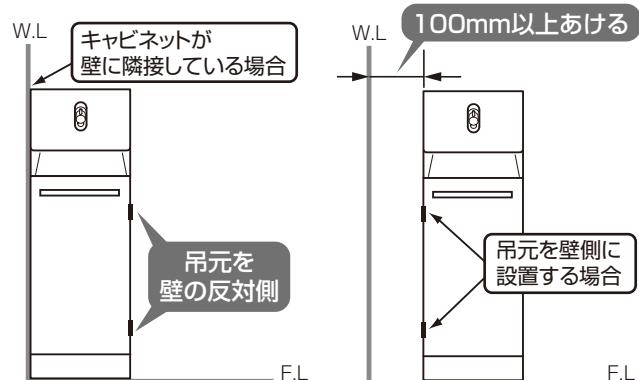
お願い

扉を開けたときに扉や取っ手が壁に当たらないことを確認の上、吊元を決めてください。

部品の確認



吊元の確認



1 扉に取っ手を取り付ける

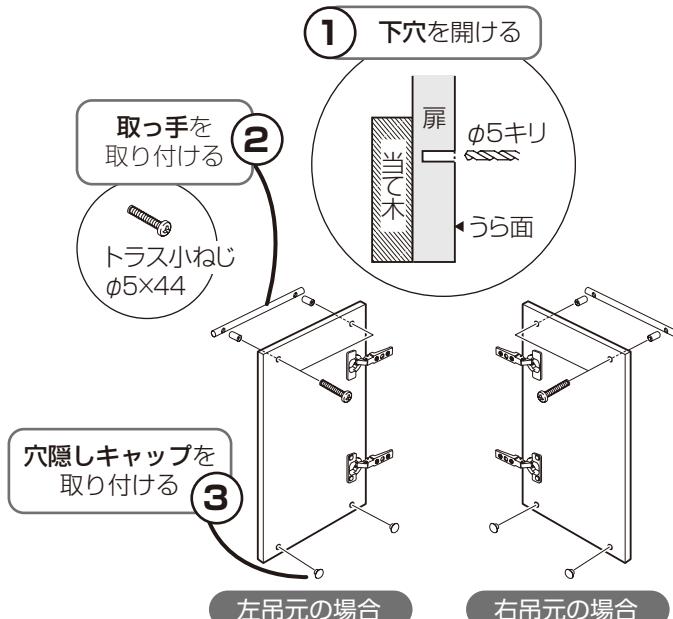
吊元を決めてから、取っ手を取り付けてください。

- ① 扉に下穴を貫通させる。

お願い

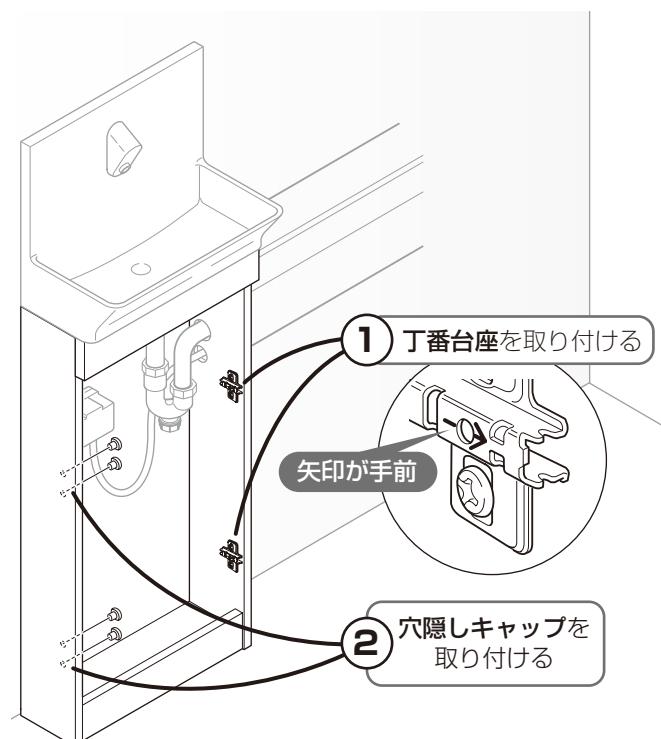
必ず当て木をして、バリ発生を防いでください。

- ② 取っ手をねじで固定する。(2か所)
- ③ 不要の穴に穴隠しキャップを取り付ける。



2 キャビネットに丁番台座を取り付ける

- ① 吊り元側に丁番台座を取り付ける。
- ② 反対側の穴に穴隠しキャップを取り付ける。

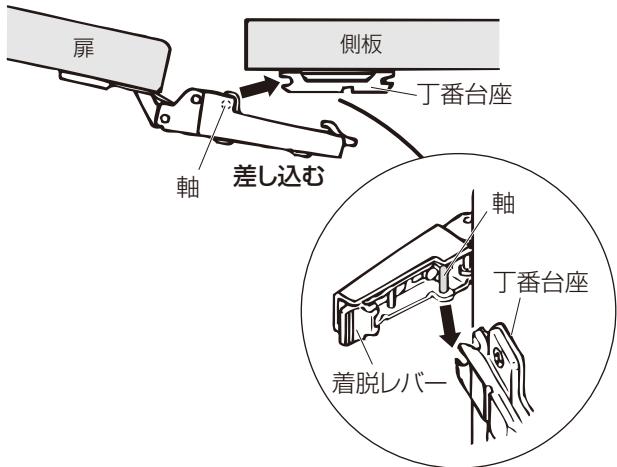


施工手順

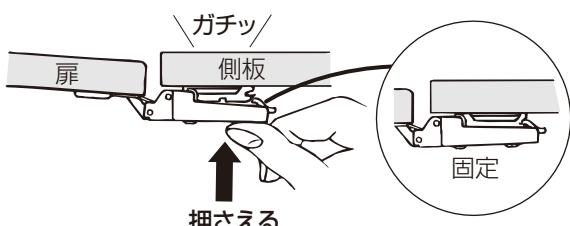
L仕様

3 丁番台座に扉を取り付ける

- ① 丁番台座に、扉側の軸を差し込む。



- ② 着脱レバーを「ガチッ」となるまで押さえる。



- ③ 扉を持って2～3回開閉し、丁番が確実に固定されているか確認する。

お願い

- ・丁番、丁番台座はできるだけ外さないようにしてください。
- ・扉を取り外す際は、着脱レバーをつまんで外してください。
- ・丁番台座を取り外す際は、側板の穴を傷つけないようにゆっくり外してください。

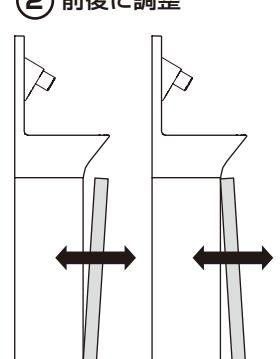
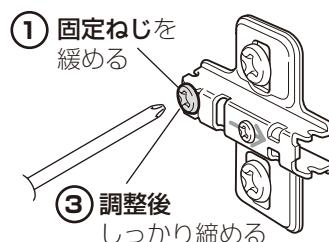


4 扉の傾きを調整する

前後の傾き調整

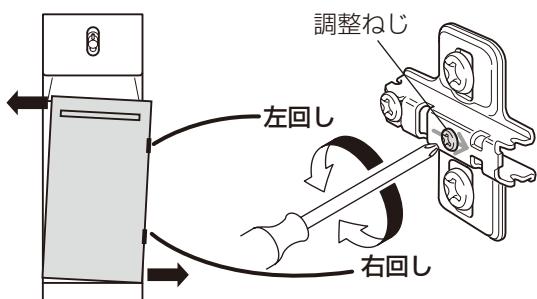
丁番台座の固定ねじを緩めて調整する。
調整後は、再度ねじを締めてください。

② 前後に調整



左右の傾き調整

丁番台座の調整ねじを回して調整する。



お願い

扉の段違いなどがある場合、正しい位置に調整し、固定ねじに緩みがないかを必ず確認してください。

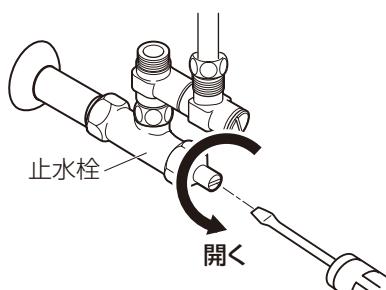
(寸法単位: mm)

9 試運転と確認

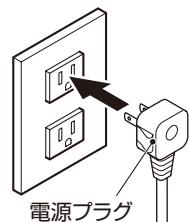
1 試運転

自動水栓の場合

- ① 止水栓を開く。



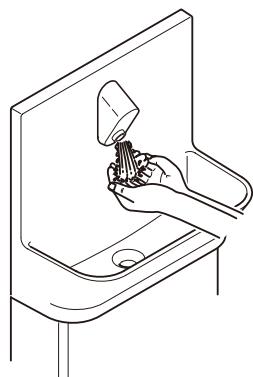
- ② 電源プラグを、コンセントに差し込む。



- ③ センサーに手をかざす。

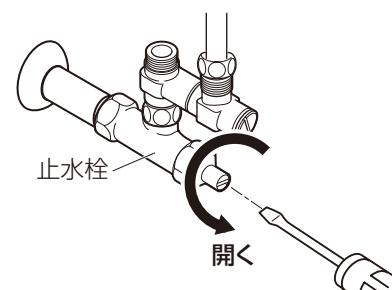
お願い

手洗いボールから水はねする場合は、止水栓で流量を調節してください。

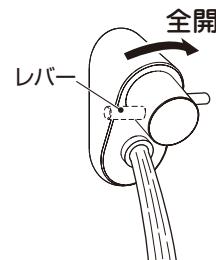


手動水栓の場合

- ① 止水栓を開く。



- ② レバーを全開に回す。
水が出るか確認してください。

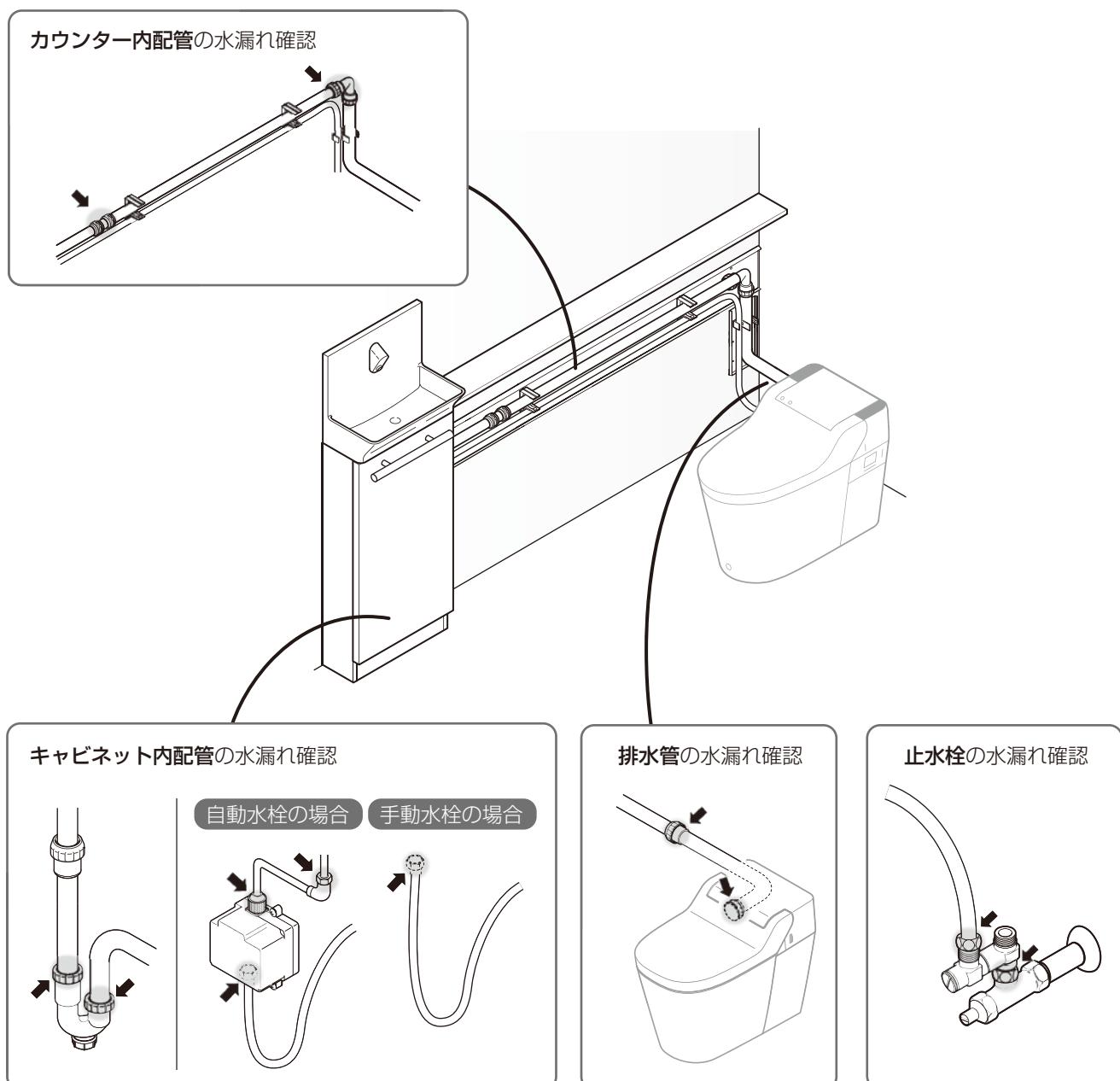


施工手順

L仕様

2 水漏れの確認

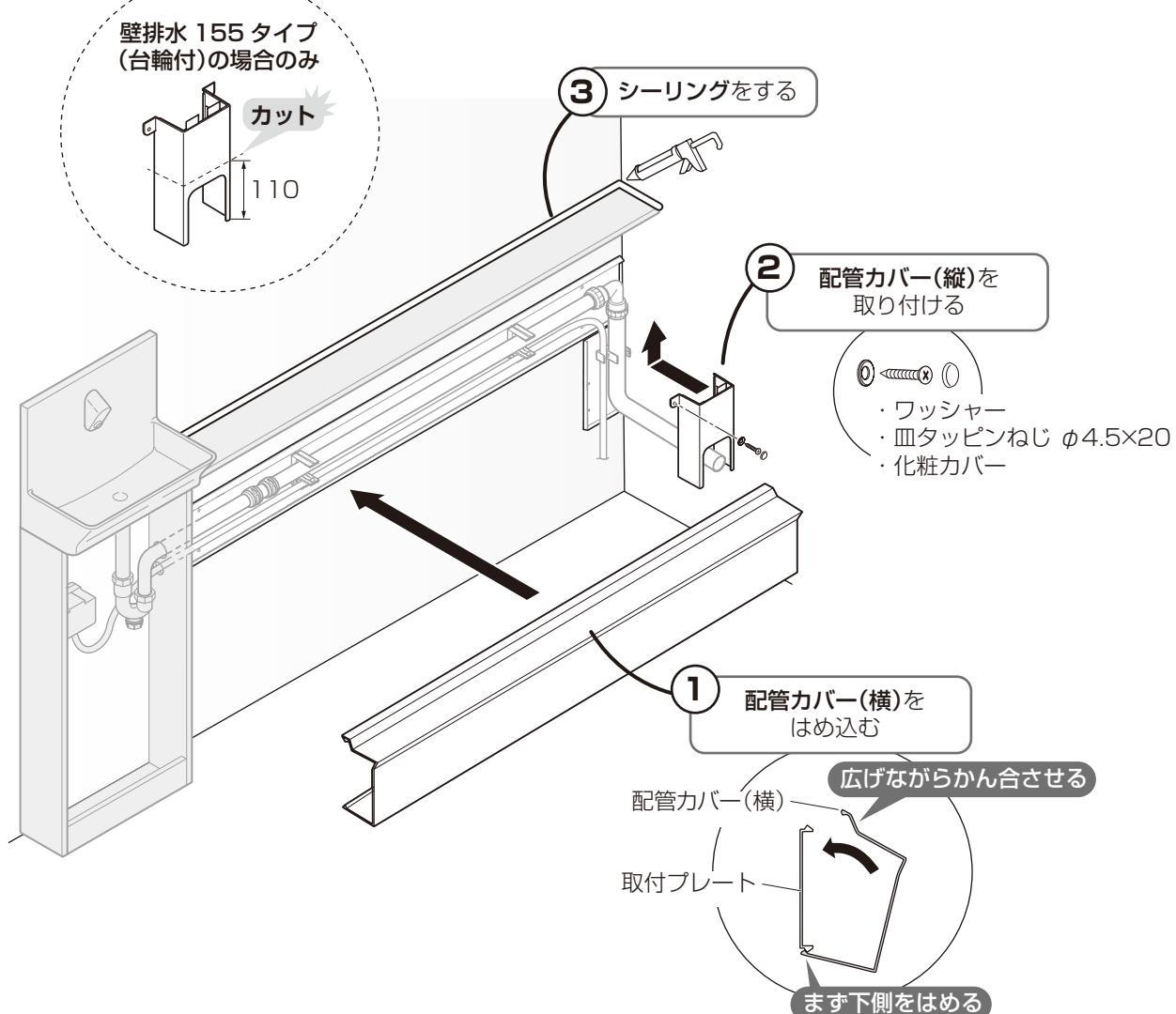
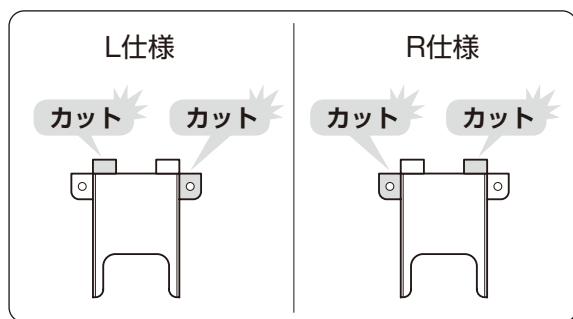
- ① 配管接続部を増し締めする。
緩んでいると、水漏れ拡大損害の原因となります。
- ② 水漏れが無いか確認する。



(寸法単位: mm)

10 配管カバーの取り付け

- ① 配管カバー（横）の下側を取り付けプレートにはめ、上側を広げながらはめる。
- ② 配管カバー（縦）を取り付ける。
現場の施工状態に合わせて、ねじ取り付け部とツメをカットしてください。
壁排水155タイプ（台輪付）の場合は下部をカットしてください。
- ③ カウンターと壁のすき間、カウンターと手洗いボールのすき間をシーリング処理する。



施工完了チェックリスト

施工後、このチェックリストにしたがって施工確認をしていただき、結果を記入のうえ、お客様にお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	キャビネットにがたつきはありませんか？	
2	配管部から水漏れはありませんか？	
3	給水栓から水は出ますか？	
4	扉のがたつきやゆがみはありませんか？	
5	ストレーナーの掃除はしましたか？ (自動水栓の場合のみ)	
6	止水栓の調整はしましたか？ (手動水栓の場合のみ)	

⚠ 注意



必ず守る

- 凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う
水漏れなどで家財などに損害を与えるおそれがあります。

MEMO

**パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部**

〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2017-2023

2023年12月発行
B0217-8123